

2022年度

母子保健情報センター 報告書

目次

①	大阪母子医療センターの母子保健活動	1
②	【特集】 ^{キャップ} CAP活動について	3
	1) 背景とセンター内体制の変遷	3
	2) 事例に対する様々なCAP活動	4
	3) 仕組みづくりとしての様々なCAP活動	7
	4) まとめ	9
③	大阪府の母子保健指標	10
	1) 市町村別人口動態統計	10
	2) 市町村別母子保健指標	13
	3) 市町村での人口10万人あたりの常勤保健師数と母子保健指標	14
④	母子保健情報センター業務報告	18
	• 母子保健調査室	18
	• 情報企画室	27
⑤	編集後記	37

1 大阪母子医療センターの母子保健活動



母子保健情報センター長
総長 倉智博久

今年度の母子保健情報センター報告書は従来通り2022年度単年度の報告書です。今回の特集は、当センターで長年にわたり多くの職員が取り組んできた子ども虐待防止活動を取り上げました。本記事を通じて私たちの虐待防止活動を知っていただき、ご意見をいただきましたら幸いです。また、今回から大阪府の母子保健指標は各市町村別の表としてまとめ、必要に応じてグラフなどを作成していただける形式で提供することといたしました。加えて、新たな取り組みとして、指標に関するいくつかの解析結果も掲載しました。

2022年度も新型コロナに翻弄された一年でした。第6, 7波では小児と妊婦の感染者が著増し、第7波では10歳以下の子どもの感染者数は総数の30%を越えました。当センターは府内で最も多くの小児感染者を受け入れ、中等・重症コロナ患児のうち84%の方の治療を担当しました。当センターに入院したコロナ患児の重症率は10%に及び、中には重篤な後遺症が不可避と考えられる脳症患児もいました。したがって、COVID-19は小児にとっても軽視できる感染症ではなく、積極的なワクチン接種が推奨されます。2023年に入ると、年初の第8波が収束した後は比較的落ち着いた状況で、日常生活、病院の体制ともにやっと平時に戻りつつあります。

2023年4月には、待望久しかった「こども家庭庁」が設置される予定で、「こどもまんなか」のさまざまな施策が施行されることが期待されていますが、まだまだ実態は見えていません。「産後ケア事業」は広がりつつあり、大阪市を含め当センターの「産後ケア」利用者をサポートする自治体は11市1町1村に広がり、利用者は、2022年度は175回（62人）と前年度の193回（51名）から利用者が増加しました。

当センターの母子保健情報センターには母子保健調査室と情報企画室とがあります。母子保健調査室は、府民及び職員向け広報、WHO指定協力センター業務を含む国際貢献事業、当センター内外の研修の策定・研修生の受け入れ、など様々な機能・役割を果たしていますが、何と云っても重要なのは大阪府の母子保健に関する調査・研究・指導です。この目的を遂行するため2017年11月には、「母子保健推進委員会」および同小委員会を発足させました。この委員会は、当センターで活発に行われている母子保健活動をまとめてセンター内外に発信することに加え、実務としてはハイリスク妊産婦および子育て支援活動を強力にサポートすることを目的としています。また、「にんしんSOS」など多くの府からの受託事業もあります。今後も体制を強化して大阪府の母子保健で指導的な役割を果たしていきたいと考えています。

情報企画室も、電子カルテシステムの開発および運営管理に加え、ネットワークを含む院内IT機器の整備・運用支援やWeb会議のサポートなど重要な業務を担っています。2018年3月に開始した「地域医療連携ネットワーク事業（南大阪MOCOネット）」は、本年も参加施設数を増やしました。接続施設数は2022年度末で病院10、診療所25、歯科診療所5、訪問看護ステーション26、障害福祉施設1、医療福祉施設2、薬局16、保健所3の計88か所となっています。当センターの患者基本情報、退院時サマリー、検査結果、画像情報などはもちろん医療機関に対しては、医師記録、看護記録にも開示情報を広げています。このサービスをさらに多くの連携施設に広げるとともに、機能をさらに充実させます。

今後、当センターでは幅広い母子保健活動をさらに充実させるとともに、本報告書を通じてその活動を発信していきたいと考えています。皆さまのご協力、ご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2

【特集】^{キャップ}CAP活動について

当センターにおける子ども虐待防止活動について

大阪母子医療センターでは、子ども虐待が疑われる事例の対応に加えて、センター全体で子ども虐待防止の取り組みを行っている。これらの活動は総称して「CAP（Child Abuse Prevention）^{キャップ}活動」と呼ばれている。今回の特集では、CAP活動について紹介する。

1) 背景とセンター内体制の変遷

1995年度に、当時の子どものこころの診療科主任部長が中心となりCAPS（Child Abuse Protection Study）研究会が発足した。当時は、子ども虐待はなんぞや、ということについてセンター内関係者の理解を深めるために、事例の検討という形で開始された。

2000年度に、児童虐待の防止等に関する法律が施行された（2004年度に改正）。

2001年度に、前年の法制化や病院組織として対応すべき虐待事例の増加に伴って、CAPS研究会は児童虐待防止推進委員会となった。その後、2007年度の委員会組織改編を経た後、2011年度に委員会名を子ども虐待防止委員会と変更した。

2022年度のセンター内の委員会体制としては二段構造になっている。「子ども虐待防止委員会（全体会議）」と「子ども虐待防止小委員会（小委員会）」である。全体会議の委員長は病院長で、副委員長1名は小委員会委員長、それ以外に委員8名から構成される。委員は各部署の代表者（主に管理職）である。年2回定期開催し、虐待対応方針を決定したり、小委員会の体制や活動方針を承認したりするほか、法的義務の履行などに応じて臨時開催する場合がある。

小委員会の委員長は、全体会議委員長の指名によって、これまで子どものこころの診療科主任部長が務めている。それ以外に副委員長6名、委員約24名から構成される。小委員会は、各部署の代表者に加えて各病棟からも看護師1名が委員として選出されるため、全体会議よりも構成人数が多い。原則として月1回定期開催している。

小委員会では、毎月のCAP活動履歴と子どもの事故履歴報告に加えて、ショートレクチャーの実施、学会研修会等の情報提供などを行っている。ショートレクチャーでは、新委員が初めて出席する5月の第一回小委員会にて、委員長がスライドを用いてCAP活動の概要を説明したり、第二回以降の小委員会で事例の傾向から各委員に得てもらいたい知識を説明している。各委員は、CAP活動に対する知識を得た上で委員会活動を行うことで、虐待防止の取り組みについて学びつつ各自の病棟に情報を共有し実践することができるよう工夫されている。

更に、全体会議が設置できる組織として、育児支援チームがある。育児支援チームは2019年度に当センターにて小児救急センターが開設されたのを機に発足した、比較的新しい組織である。チーム長は、全体会議委員長の指名によって、これまで子どものこころの診療科主任部長が務めてきた。それ以外に、（主任部長以外の）子どものこころの診療科

医師、集中治療科医師、患者センター看護師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、保健師、事務職がメンバーとなっている。（2022年度は計11名）。虐待を念頭に置いて対処すべき事案が発生した際に、治療スタッフと協同し虐待に関する情報収集・連絡・家族への虐待告知を機動的に行う「実働部隊」である。2022年度診療報酬改定において、小児入院医療管理料 養育支援体制加算が設置された。当センターの育児支援チームの取組みは、下記項目の活動とあわせて、まさにこの加算施設基準と合致した活動となっている。

2) 事例に対する様々なCAP活動

ここでは、緊急性が低いものから順に、事例に対するCAP活動を紹介します。（図1）

2-1) CAPラウンド<入院・外来患者>

医療者が、「ちょっと気になる事例」（虐待疑い事例）について、虐待対応経験のある医療者に相談しやすく、より早期に対応し体制をつくることを目的にCAPラウンドを開始した。2013年度よりCAP相談（2-3を参照）を開始したものの、現場のスタッフからは「CAP相談するための病棟コンセンサスが得られにくい」「事例報告シートを書いてまでCAP相談する状況にはない」「CAP相談よりも気軽に相談する場が欲しい」などの意見に対応するため、2014年度から開始したものである。

育児支援チームの3名（医師・看護師・MSW）が、毎週一回14-15時に、病棟を回診（ラウンド）する。相談の記録は対象となる患者の診療データシステム画面上に残し、画面上の付箋をつけることで、関係者に情報共有できる仕組みとなっている。

CAPラウンドにより、病棟スタッフと育児支援チームによる双方向のやりとりを円滑に行う事ができる。制度開始当初はCAPラウンド先の病棟で戸惑われることもあったが、現在では是非CAPラウンドを実施してほしいと要望を受けることもある。

2022年度は、週1回のCAPラウンドによって、延べ324件の事例を扱った。

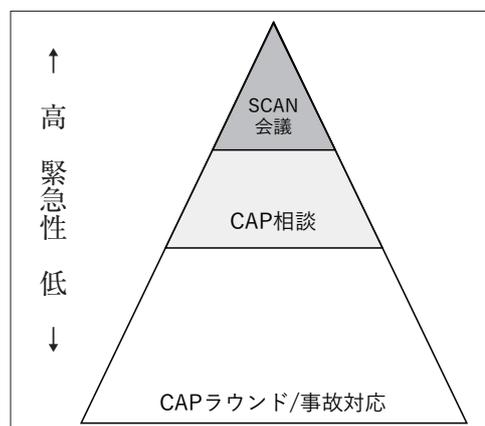


図1. 緊急度でみたCAP活動(筆者作図)

2-2) 事故に関連した受診の対応<外来患者>

事故による外傷の診療において、外傷そのものの対応以外に虐待・安全のネグレクトについての可能性を想定した対応をすることが重要である。2017年11月から、当センターでは、保護者から事故当時の状況や家族背景について情報収集するための問診票様式を準備し活用している。

また、2019年度より小児救急センターが開設されたことに伴い、紹介状を持たずに外来受診する、事故関連症例が増加した。事故受診の場合、当センターがかかりつけでない患者も受診するため、従来のCAP相談やCAPラウンドの機会を利用した事例の発見が困難

であった。そのため、2019年度以降は、事故に関連した受診の場合、育児支援チームの看護師2名が、主治医とは別に、外傷についての虐待カテゴリー評価（カテゴリー1, 2, 3A, 3B, 4）を行っている（図2）。カテゴリーの数字が大きいくほど虐待による外傷の可能性を示している。カテゴリー評価の結果、一定以上の場合は、2-4で述べるSCAN（スキャン）会議の検討（審議）対象となる。逆に、一定以下の場合は、院内保健師による保健指導を行い、要養育支援者情報提供票の発行などにより院内保健師から居住地の機関へ連絡を行い、地域での見守りを促している。状況によっては、後述する事故予防リーフレットを外来にて配布し対応終了とする場合もある。

2022年度は327件の事故受診を把握し、カテゴリー評価を行った。327件のうち、20件はSCAN会議を開催し、134件は保健師あるいはMSWによる面談を実施した。

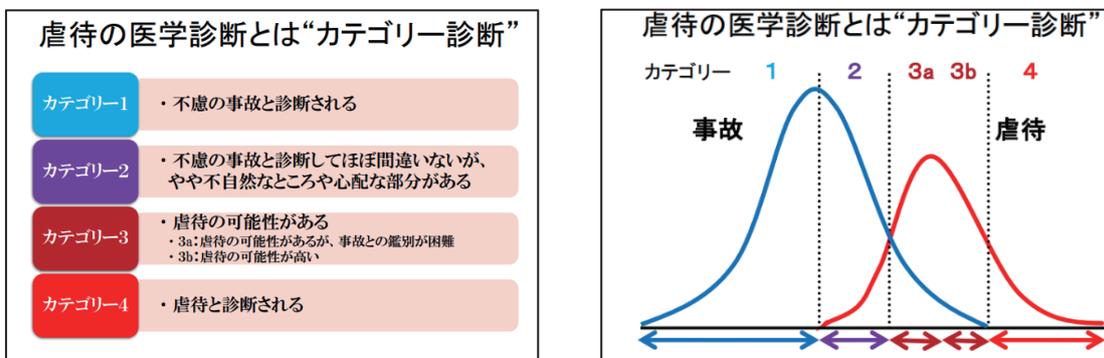


図2. 外傷のカテゴリー診断

<出典 医療機関向け虐待プログラムBEAMS Stage1資料>

2-3) CAP相談<入院・外来患者>

2013年度より、医療者が「ちょっと気になる事例」「対応困難な事例」（虐待疑い事例）についてコンサルテーションする窓口としてCAP相談を開始した。（週1回17-18時）

相談対応側は育児支援チームの3名で、職種としては、医師・看護師・コメディカル（保健師またはMSWまたは心理士）で構成される。患者支援センターで相談予約を受け付けている。

相談自体は、電話越しではなく、面談室にて行う。相談の記録は対象となる患者の診療データシステム画面上に残し、画面上の付箋をつけることで、関係者に情報共有できる仕組みとなっている。それとは別にCAP相談の台帳を作っている。

実際の相談内容としては、症例の情報交換・検討・対応や虐待が疑われる症例・気になる症例の相談・報告である。

2022年度には、28件の新規CAP相談があった（表1）。主診療科の内訳としては新生児科からの相談が最も多く、家族背景や障害受容が困難であるため養育が危惧されるケースが多かった。他の科からは障害・医療的ケアのある子どもについて相談があった。

表 1. 主診療科・入院/外来別 新規CAP相談数. (2022年度)

主診療科	新生児科	小児神経科	小児循環器科	こころ科	消内科	脳神経外科	産科	形成外科	計
入院	9	3	4	0	1	2	1	1	21
外来	1	2	0	3	1	0	0	0	7
合計	10	5	4	3	2	2	1	1	28

2-4) スキャン SCAN (Suspected Child Abuse & Neglect) 会議 (子ども虐待診断会議)

2019年度、育児支援チーム発足と同時に、運用を開始した。上述のカテゴリ評価の結果、検討の必要な症例が発生する都度会議が開催される。関係部署の職員等と育児支援チームで会議を行い、虐待の重症度（最重度・重度・中等度・軽度・ハイリスク）を判断する（図3）。一定以上の虐待が疑われる場合は、主治医ではなく育児支援チームが介入を開始する。2022年度は57件のSCAN会議を行った（表2）。新生児科症例では、養育環境が不適切な事例、脳神経外科・集中治療科症例では、外傷などで救急搬送された症例などを検討した。

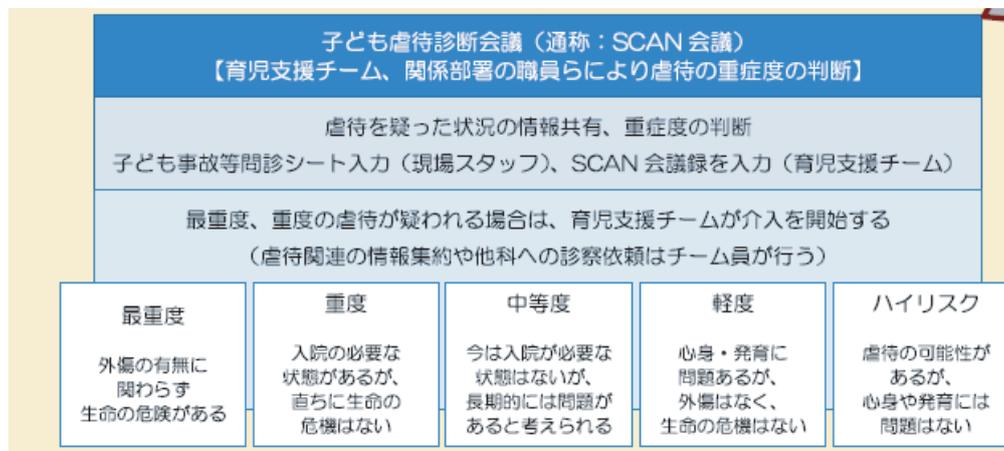


図3. スキャン SCAN会議による重症度の判断

<出典 当センター 子ども虐待対応マニュアル第4版>

表 2. 主診療科・入院/外来別 SCAN会議数 (2022年度)

主診療科	新生児科	小児神経科	脳外科	集中治療科	消内科	整形外科	小児循環器科	産科	小児外科	泌尿器科	血液腫瘍科	呼吸器科	形成外科	腎内科	計
入院	15	9	8	6	3	3	2	1	1	1	1	1	0	0	51
外来	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	1	6
合計	15	9	8	6	6	3	2	2	1	1	1	1	1	1	57

2-5) 関係機関への通告や情報提供

SCAN会議によって必要性が認められた場合、市町村や児童相談所への通告を行う。当センターでは、子どもや家族との関係性を途切れさせずに支援していく「育児支援」を重視している。そのため、母子保健機関等との支援ベースでの連携を密に行いつつ、虐待通告が必要な可能性のある症例については必ずSCAN会議を開催し、センター内での合意形成のもと児童相談所等に通告している。そのためCAP・要保護児童対策地域協議会・特定妊婦等への対応延べ件数は2022年度において1435件となっているが、通告に関しては市町村へ1件、児童相談所へ12件であった。また、児童相談所等から情報提供依頼を受けることがあり、2022年度114件に対応した。

3) 仕組みづくりとしての様々なCAP活動

3-1) マニュアルの整備（職員対象）

センター全体で子ども虐待事例に対応できるようにするため、マニュアルを整備し、定期的に更新している。マニュアルの変遷は下記のとおりである。

1994年度：CAPS研究会が設置される1年前であったが、子どものこころ診療科主任部長を中心に準備を行い、院内で使用する「子ども虐待対応マニュアル（第1版）」を発行した。内容は、基本理解・コメディカルの役割・機関連携の流れであり、院内の子ども虐待対応の基本を示したものとイえた。

2005年度：第2版が発行された。家族や子どもの持つ要因が複雑でかつ支援が困難な事例が多くなり、チームを組織して各部署の取り組みを支援するなどの対応を行うようになったことにあわせて、対応の定型化部分が盛り込まれた。

2011年度：委員会名が子ども虐待防止委員会と変更されたタイミングで、第3版が発行された。主な変更点は、体制についての記述を実状に合わせたことと、脳死下臓器提供者から虐待を除外するマニュアルの追補であった。背景としては、2010年に臓器移植法が改正されて、子どもも臓器提供が可能になり、臓器提供施設として当センターをはじめとする日本小児総合医療施設協議会の会員施設が加わったものの、子どもの脳死判定にあたっては虐待を受けた子どもを除外する必要があったことがあげられる。

2015年度：第4版が発行された。主な変更点はCAP相談やCAPラウンドについて、育児支援チームの活動の追補などであった。

2022年度：母性外来における対応を追加した第5版の発行を検討している。

3-2) 新規採用職員に対する研修の実施（職員対象）

毎年4月に実施される新規採用医師オリエンテーションにて、当センターにおける虐待対応についての研修を行っている。また、看護師を対象としたラダー別研修を年2回行い、新規採用者、中級者それぞれに適切な内容を提供している。

3-3) 研修会の開催（職員対象）

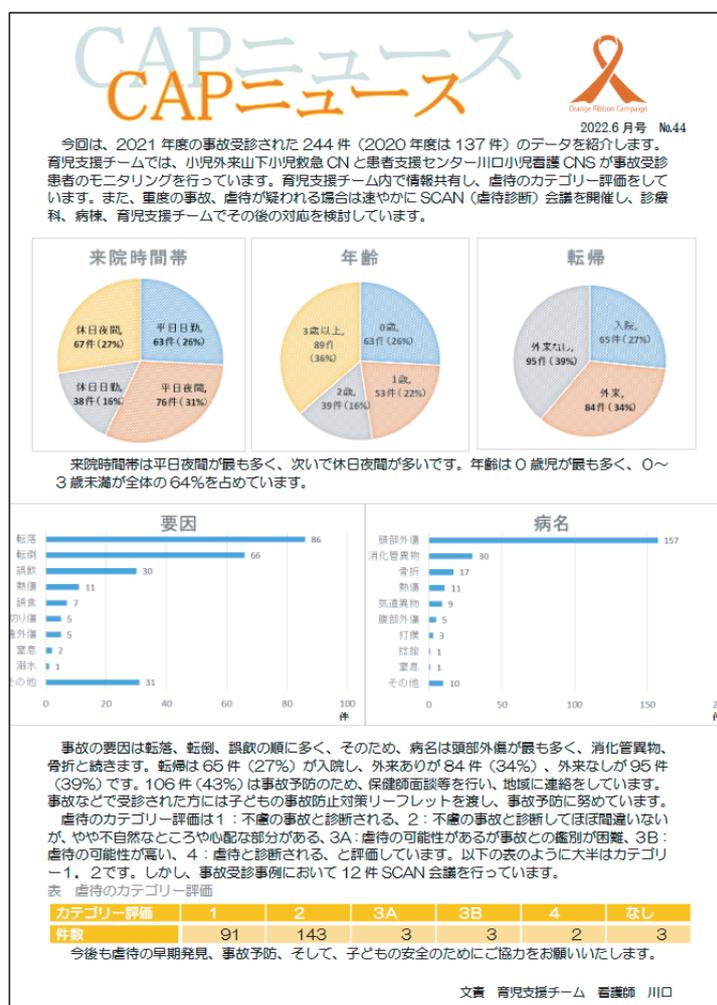
定期的に専門家による研修会を行い、職員の意識啓発や知識の習得を奨励している。

表3. 直近のCAP研修会

2021年度	丸山朋子先生 (急性期・総合医療センター)	AHT (Abusive Head Trauma)；虐待による頭部外傷)とその鑑別について
2022年度①	光田信明先生 (当センター病院)	「妊娠期からの切れ目ない虐待予防について」
2022年度②	浅野恭子先生 (大阪府女性相談センター)	「子ども時代の逆境体験の長期的影響の理解とトラウマインフォームドケア～児童期から成人期にかけて～」

3-4) CAPニュースの配信（職員対象）

年に2回程度、「CAPニュース」という名称で、ニュースレターを作成し、CAP活動報告を行うとともに啓蒙活動を行っている。



3-5) 事故予防啓発（患者・家族対象）

2019年度に「母と子のすこやか基金」の助成を受けて事故防止のためのリーフレットを作成し、事故受診者に配布している。2022年度には、外部資金（日本財団）を得て、同じ

内容を記載したミニクリアファイルを作成し、あわせて啓蒙活動に利用している。



4) まとめ

以上のように、当センターでは多職種が連携して様々なCAP活動を行っている。児童虐待防止対策は、母子保健における中心的な課題であり、関係機関の協力を得ながら今後も継続して活動を行っていくことが重要である。

参考文献)

- 大阪母子医療センター 40周年記念誌
- 2016年度母子保健情報センター報告書
- 2022年大阪母子医療センター年報
- 大阪母子医療センター 虐待対応マニュアル第3・4版
- 子ども虐待防止小委員会ショートレクチャー資料
- 医療機関向け虐待プログラムBEAMS Stage1資料

(文責：馬場)

3 大阪府の母子保健指標

本章では、出生、乳児死亡などの母子保健水準に関連した指標と、妊娠届出や乳幼児健診受診状況などの母子保健事業に関連した指標を各種統計資料から抜粋し、市町村別に表としてまとめた。また、新たな取り組みとして、市町村の様子を表す指標（今回は人口10万人あたりの常勤保健師数）と、いくつかの母子保健指標との散布図を描き、相関関係について検討した。

なお、①出典資料ごとに報告単位が年次・年度と異なること、②人口動態統計を用いた表では、令和4年分のデータは未発表のため、令和3年分のデータを報告対象としていること、③政令指定都市・中核市は対象外となっている統計資料があること、④表中の「大阪府」は大阪府全体での平均、ただし「平均」は大阪府下の政令指定都市・中核市以外の値をもとに算出していることにご留意いただきたい。

1) 市町村別人口動態統計（抜粋）

表1に総人口・出生・低出生体重児に関するデータ¹⁾を市町村別に示した。大阪府全体では、総人口8,807,279人、出生数59,780人、出生率（人口千対）6.8、低出生体重児5,304人（8.9%）であった。大阪府全体の出生率（人口千対）を上回った市町は全体の3分の1程度となり、また、低出生体重児の割合は全国平均よりも0.5%低値であった。[全国²⁾：出生数811,622人、出生率（人口千対）6.6、低出生体重児76,060人（9.4%）]

表2に乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡・死産に関するデータ¹⁾を市町村別に示した。乳児死亡とは「生後1年未満の死亡」、新生児死亡とは「生後4週未満の死亡」、周産期死亡とは「妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの」、死産とは「妊娠12週以後の死産の出産」、人工死産とは「胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置を加えたことにより死産に至った場合」、自然死産に関しては、人工死産以外は「すべて自然死産とする」と定義されている³⁾。大阪府では、乳児死亡率（出生千対）1.5、新生児死亡率（出生千対）0.7、周産期死亡率（出産千対）3.3、死産率（出産千対）19.3であり、全国と大きく相違は無かった。[全国²⁾：乳児死亡率（出生千対）1.7、新生児死亡率（出生千対）0.8、周産期死亡率（出産千対）3.4、死産率（出産千対）19.7]

表 1. 大阪府の市町村別総人口・出生・低出生体重児（令和 3 年）

市町村	総人口 (人)	出生		低出生体重児	
		実数	人口 千対率	実数	割合
池田市	104,865	677	6.5	82	12.1%
豊能町	18,024	55	3.1	6	10.9%
箕面市	137,418	866	6.3	75	8.7%
能勢町	8,879	27	3.0	4	14.8%
摂津市	87,321	773	8.9	89	11.5%
茨木市	287,749	2,266	7.9	210	9.3%
島本町	30,995	274	8.8	21	7.7%
守口市	142,381	1,115	7.8	109	9.8%
門真市	118,674	668	5.6	65	9.7%
四條畷市	54,724	347	6.3	30	8.6%
交野市	74,766	483	6.5	38	7.9%
大東市	118,349	764	6.5	48	6.3%
柏原市	68,274	387	5.7	37	9.6%
松原市	116,646	737	6.3	72	9.8%
羽曳野市	107,931	597	5.5	57	9.5%
藤井寺市	63,173	381	6.0	33	8.7%
大阪狭山市	58,175	453	7.8	34	7.5%
富田林市	107,697	590	5.5	60	10.2%
河内長野市	100,354	447	4.5	31	6.9%
河南町	15,459	63	4.1	9	14.3%
太子町	12,837	51	4.0	1	2.0%
千早赤阪村	4,819	12	2.5	1	8.3%
和泉市	183,879	1,221	6.6	93	7.6%
泉大津市	73,961	560	7.6	57	10.2%
高石市	55,224	435	7.9	44	10.1%
忠岡町	16,438	106	6.4	5	4.7%
岸和田市	188,815	1,282	6.8	111	8.7%
貝塚市	83,235	455	5.5	35	7.7%
泉佐野市	99,222	610	6.1	57	9.3%
熊取町	43,486	248	5.7	16	6.5%
田尻町	8,252	63	7.6	6	9.5%
泉南市	59,379	403	6.8	32	7.9%
阪南市	50,455	230	4.6	23	10.0%
岬町	14,536	63	4.3	6	9.5%
大阪市	2,750,835	19,306	7.0	1,683	8.7%
堺市	821,598	5,483	6.7	508	9.3%
高槻市	352,056	2,473	7.0	206	8.3%
東大阪市	490,173	2,923	6.0	262	9.0%
豊中市	401,062	3,159	7.9	285	9.0%
枚方市	395,255	2,503	6.3	230	9.2%
八尾市	263,245	1,837	7.0	148	8.1%
寝屋川市	228,133	1,435	6.3	121	8.4%
吹田市	388,530	2,952	7.6	264	8.9%
大阪府	8,807,279	59,780	6.8	5,304	8.9%

出典：令和 3 年大阪府人口動態調査¹⁾

注 1：人口は「令和 3 年国勢調査人口等基本集計」（総務省統計局）によるものである。

注 2：諸率算出に用いた人口は、大阪府総数については、「日本人人口（8,806,000 人総務省統計局推計）、市町村については、総人口「令和 3 年国勢調査人口等基本集計」（総務省統計局）によるものである。

表2. 大阪府の市町村別乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡・死産（令和3年）

市町村	総人口 (人)	乳児死亡		新生児死亡		周産期死亡						死産					
		実数	出生 千対率	実数	出生 千対率	総 数		妊娠満22週 以後の死産		早期新生児 死亡		総 数		自然死産		人工死産	
						実数	出産 千対率	実数	出産 千対率	実数	出生 千対率	実数	出産 千対率	実数	出産 千対率	実数	出産 千対率
池田市	104,865	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	12	17.4	5	7.3	7	10.2
豊能町	18,024	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	17.9	1	17.9	0	0.0
箕面市	137,418	2	2.3	0	0.0	2	2.3	2	2.3	0	0.0	19	21.5	8	9.0	11	12.4
能勢町	8,879	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
摂津市	87,321	0	0.0	0	0.0	3	3.9	3	3.9	0	0.0	11	14.0	7	8.9	4	5.1
茨木市	287,749	6	2.6	2	0.9	12	5.3	11	4.8	1	0.4	51	22.0	30	12.9	21	9.1
島本町	30,995	0	0.0	0	0.0	2	7.2	2	7.2	0	0.0	2	7.2	2	7.2	0	0.0
守口市	142,381	0	0.0	0	0.0	6	5.4	6	5.4	0	0.0	32	27.9	19	16.6	13	11.3
門真市	118,674	2	3.0	1	1.5	3	4.5	2	3.0	1	1.5	13	19.1	5	7.3	8	11.7
四條畷市	54,724	2	5.8	2	5.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	8	22.5	3	8.5	5	14.1
交野市	74,766	3	6.2	1	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	9	18.3	3	6.1	6	12.2
大東市	118,349	3	3.9	2	2.6	4	5.2	2	2.6	2	2.6	19	24.3	5	6.4	14	17.9
柏原市	68,274	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	7	17.8	1	2.5	6	15.2
松原市	116,646	1	1.4	1	1.4	4	5.4	3	4.1	1	1.4	9	12.1	6	8.0	3	4.0
羽曳野市	107,931	0	0.0	0	0.0	3	5.0	3	5.0	0	0.0	13	21.3	6	9.8	7	11.5
藤井寺市	63,173	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	13.0	1	2.6	4	10.4
大阪狭山市	58,175	2	4.4	2	4.4	4	8.8	2	4.4	2	4.4	5	10.9	3	6.6	2	4.4
富田林市	107,697	0	0.0	0	0.0	1	1.7	1	1.7	0	0.0	11	18.3	4	6.7	7	11.6
河内長野市	100,354	0	0.0	0	0.0	2	4.5	2	4.5	0	0.0	10	21.9	8	17.5	2	4.4
河南町	15,459	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	45.5	1	15.2	2	30.3
太子町	12,837	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	19.2	1	19.2	0	0.0
千早赤阪村	4,819	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	142.9	2	142.9	0	0.0
和泉市	183,879	3	2.5	1	0.8	4	3.3	3	2.5	1	0.8	32	25.5	16	12.8	16	12.8
泉大津市	73,961	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	8.8	2	3.5	3	5.3
高石市	55,224	1	2.3	1	2.3	2	4.6	1	2.3	1	2.3	3	6.8	3	6.8	0	0.0
忠岡町	16,438	0	0.0	0	0.0	1	9.3	1	9.3	0	0.0	2	18.5	2	18.5	0	0.0
岸和田市	188,815	5	3.9	2	1.6	4	3.1	2	1.6	2	1.6	34	25.8	16	12.2	18	13.7
貝塚市	83,235	1	2.2	1	2.2	4	8.7	3	6.6	1	2.2	9	19.4	6	12.9	3	6.5
泉佐野市	99,222	0	0.0	0	0.0	1	1.6	1	1.6	0	0.0	10	16.1	5	8.1	5	8.1
熊取町	43,486	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	15.9	2	7.9	2	7.9
田尻町	8,252	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
泉南市	59,379	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	12.3	3	7.4	2	4.9
阪南市	50,455	1	4.3	0	0.0	1	4.3	1	4.3	0	0.0	2	8.6	1	4.3	1	4.3
岬町	14,536	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	15.6	0	0.0	1	15.6
大阪市	2,750,835	21	1.1	8	0.4	61	3.2	54	2.8	7	0.4	412	20.9	170	8.6	242	12.3
堺市	821,598	3	0.5	2	0.4	16	2.9	15	2.7	1	0.2	93	16.7	49	8.8	44	7.9
高槻市	352,056	2	0.8	2	0.8	7	2.8	5	2.0	2	0.8	50	19.8	24	9.5	26	10.3
東大阪市	490,173	7	2.4	4	1.4	7	2.4	4	1.4	3	1.0	56	18.8	23	7.7	33	11.1
豊中市	401,062	6	1.9	1	0.3	11	3.5	10	3.2	1	0.3	56	17.4	34	10.6	22	6.8
枚方市	395,255	7	2.8	4	1.6	7	2.8	5	2.0	2	0.8	44	17.3	20	7.9	24	9.4
八尾市	263,245	4	2.2	1	0.5	7	3.8	6	3.3	1	0.5	36	19.2	19	10.1	17	9.1
寝屋川市	228,133	5	3.5	1	0.7	5	3.5	4	2.8	1	0.7	23	15.8	10	6.9	13	8.9
吹田市	388,530	4	1.4	1	0.3	11	3.7	11	3.7	0	0.0	58	19.3	33	11.0	25	8.3
大阪府	8,807,279	92	1.5	40	0.7	195	3.3	165	2.8	30	0.5	1,178	19.3	559	9.2	619	10.2

出典：令和3年大阪府人口動態調査¹⁾

注1：人口は「令和3年国勢調査人口等基本集計」（総務省統計局）によるものである。

注2：諸率算出に用いた人口は、大阪府総数については、「日本人人口（8,806,000人総務省統計局推計）、市町村については、総人口「令和3年国勢調査人口等基本集計」（総務省統計局）によるものである。

注3：死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対。

注4：乳児死亡は生後1年未満の死亡を、新生児死亡は乳児死亡のうち生後4週未満の死亡をいう。

2) 市町村別母子保健指標（抜粋）

表3に妊娠届出及び乳幼児健康診査受診状況に関する指標⁴⁾を市町村別（政令指定都市・中核市を除く）に示した。大阪府（政令指定都市・中核市を除く）では、満11週以内の妊娠届出95.4%、4か月健診受診率97.9%、1歳6か月児健康診査受診率97.6%、3歳児健康診査受診率95.5%であった。大阪府の受診率よりも高い割合だった市町村には表3に網掛けを加えている。令和4年度の大阪府の妊娠届出及び乳幼児健康診査受診状況は全国平均よりも高水準を維持していた。[全国⁵⁾：満11週以内の妊娠届出94.8%、4か月健診受診率95.4%、1歳6か月児健康診査受診率95.2%、3歳児健康診査受診率94.6%]

表3. 大阪府の市町村（政令指定都市・中核市除く）別
妊娠届出及び乳幼児健康診査受診状況（令和4年度）

	妊娠届出		4か月児健康診査			1歳6か月児健康診査			3歳児健康診査			
	総数	満11週以内 実数	割合	対象 人員	受診 実人員	受診率	対象 人員	受診 実人員	受診率	対象 人員	受診 実人員	受診率
池田市	694	650	93.7%	720	705	97.9%	775	765	98.7%	836	818	97.8%
箕面市	796	773	97.1%	866	836	96.5%	1039	1014	97.6%	1244	1161	93.3%
豊能町	30	30	100.0%	48	48	100.0%	51	51	100.0%	63	62	98.4%
能勢町	20	18	90.0%	21	22	104.8%	33	33	100.0%	37	33	89.2%
茨木市	2248	2186	97.2%	2305	2253	97.7%	2715	2657	97.9%	2656	2657	93.2%
摂津市	684	633	92.5%	736	711	96.6%	720	703	97.6%	737	716	97.2%
島本町	205	203	99.0%	234	233	99.6%	274	271	98.9%	294	291	99.0%
守口市	990	950	96.0%	1076	1081	100.5%	1152	1122	97.4%	1141	1074	94.1%
大東市	789	759	96.2%	724	711	98.2%	749	731	97.6%	818	783	95.7%
門真市	712	683	95.9%	626	534	85.3%	694	665	95.8%	767	707	92.2%
四條畷市	349	335	96.0%	348	337	96.8%	338	326	96.4%	397	383	96.5%
交野市	482	463	96.1%	513	502	97.9%	601	584	97.2%	761	721	94.7%
柏原市	401	389	97.0%	377	375	99.5%	433	424	97.9%	439	421	95.9%
富田林市	604	575	95.2%	608	616	101.3%	640	631	98.6%	730	692	94.8%
河内長野市	438	419	95.7%	487	484	99.4%	475	454	95.6%	578	544	94.1%
松原市	687	655	95.3%	722	703	97.4%	774	737	95.2%	749	694	92.7%
羽曳野市	638	612	95.9%	653	646	98.9%	671	650	96.9%	662	651	98.3%
藤井寺市	420	397	94.5%	398	391	98.2%	407	397	97.5%	436	415	95.2%
大阪狭山市	408	393	96.3%	428	426	99.5%	452	440	97.3%	555	529	95.3%
太子町	66	64	97.0%	67	67	100.0%	61	58	95.1%	88	83	94.3%
河南町	51	51	100.0%	62	61	98.4%	54	55	101.9%	87	87	100.0%
千早赤阪村	13	13	100.0%	19	19	100.0%	20	19	95.0%	20	20	100.0%
岸和田市	1193	1120	93.9%	1255	1225	97.6%	1765	1686	95.5%	1699	1490	87.7%
泉大津市	573	541	94.4%	494	491	99.4%	525	523	99.6%	532	499	93.8%
貝塚市	418	399	95.5%	487	479	98.4%	470	452	96.2%	547	534	97.6%
泉佐野市	639	608	95.1%	615	611	99.3%	643	654	101.7%	690	673	97.5%
和泉市	1146	1067	93.1%	1179	1128	95.7%	1300	1274	98.0%	1426	1367	95.9%
高石市	378	349	92.3%	407	404	99.3%	433	421	97.2%	452	439	97.1%
泉南市	391	368	94.1%	363	357	98.3%	390	374	95.9%	411	400	97.3%
阪南市	231	218	94.4%	240	234	97.5%	208	198	95.2%	275	267	97.1%
忠岡町	96	90	93.8%	70	81	115.7%	111	107	96.4%	109	106	97.2%
熊取町	259	250	96.5%	272	283	104.0%	303	322	98.7%	332	322	97.0%
田尻町	43	42	97.7%	57	58	101.8%	75	76	101.3%	65	63	96.9%
岬町	53	50	94.3%	53	54	101.9%	63	65	103.2%	55	56	101.8%
平均	17145	16353	95.4%	17530	17166	97.9%	19414	18939	97.6%	20688	19758	95.5%

出典：令和4年度大阪府母子保健業務報告⁴⁾

注：令和3年度の乳幼児健康診査対象児が令和4年度に受診した場合、令和4年度の対象人員には含めないが、令和4年度の受診人員には含めるため、受診率が100%を超えることがある

3) 市町村での人口10万人あたりの常勤保健師数と母子保健指標

図1に各市町村における総人口と人口10万人あたりの常勤保健師数を示した。各市町村別総人口は「令和5年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(令和4年1月1日～12月31日の総人口)⁶⁾、常勤保健師数は「令和4年度保健師活動領域調査」⁷⁾での集計結果を活用した。大阪府では常勤保健師数が人口10万人あたり15.6人であり、全国平均の人口10万人あたり22.2人⁷⁾よりも少ない傾向を認めた。また、総人口が多い市町村ほど常勤保健師数が少ない傾向であった。

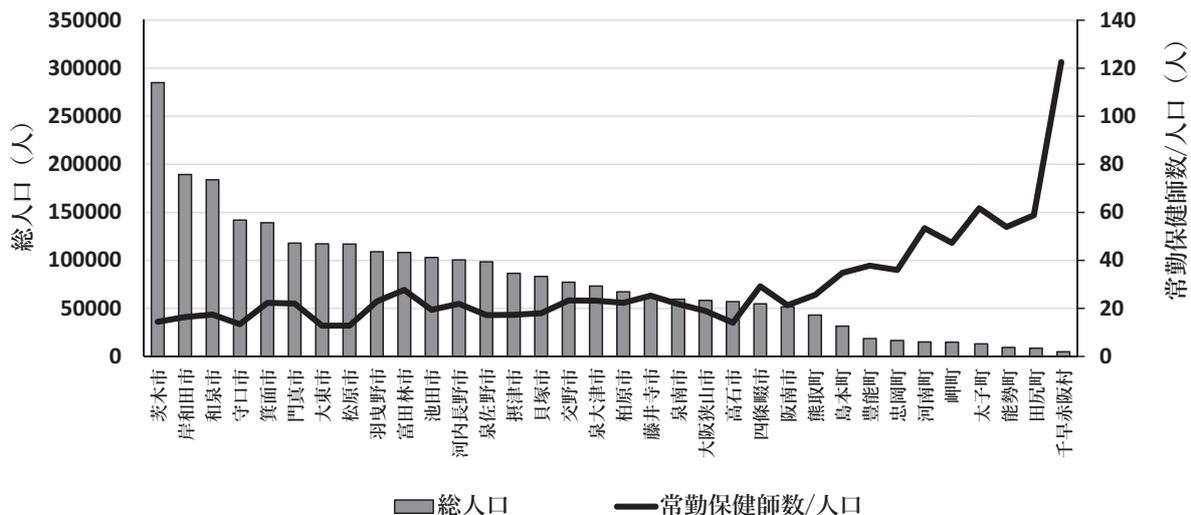


図1 市町村別総人口と常勤保健師数

図2～図6に人口10万人あたりの保健師数といくつかの母子保健指標について散布図で示した。それぞれの点が大阪府下の各市町村に該当する。また、2つの変数間の相関係数(r) (スピアマンの順位相関係数) を算出した。相関係数とは、「二種類の測定値の直線的な関連の強さを表す指標」と定義されている⁸⁾。相関係数は-1から+1の範囲の値であり、-1に近いほど強い負の相関、+1に近いほど強い正の相関を認めると評価する。人口10万人あたりの常勤保健師数と満11週以内の妊娠届出の割合 (r=0.34)、特定妊婦の割合 (r=0.34)、4か月児健康診査受診率 (r=0.54)、1歳6か月児健康診査受診率 (r=0.22)、3歳児健康診査受診率 (r=0.30) において、弱い～中等度の正の相関が認められた。これらのうち、最も相関が強かった項目は4か月児健康診査受診率であった。これらの傾向は、人口10万人あたりの常勤保健師数40人以上の町村を除いた場合も概ね同様の傾向が見られた。因果関係は不明だが、常勤保健師を十分に配置している市町村では、母子保健指標もよりよい値となる傾向が観察できた。

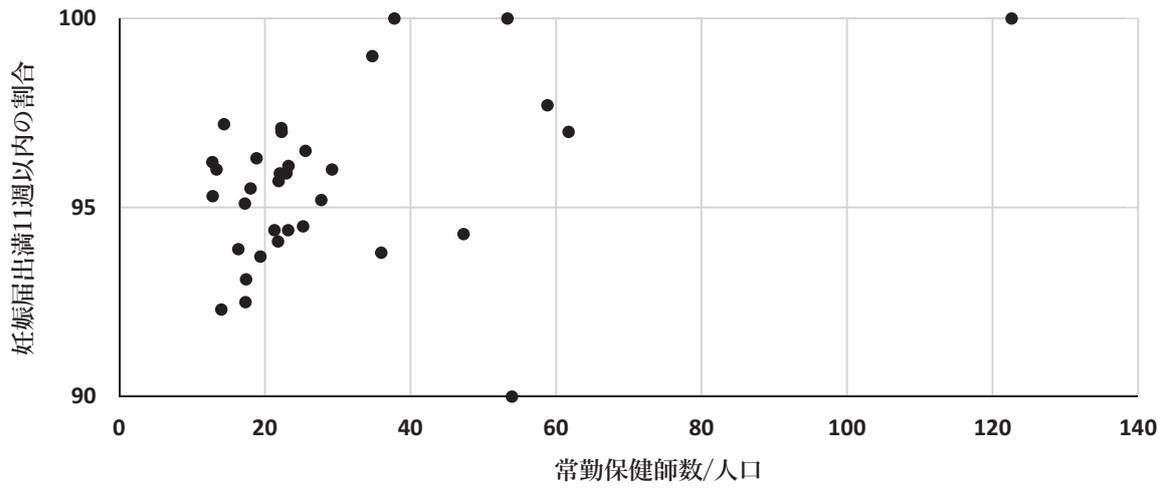


図2. 常勤保健師数と妊娠届出満11週以内の割合

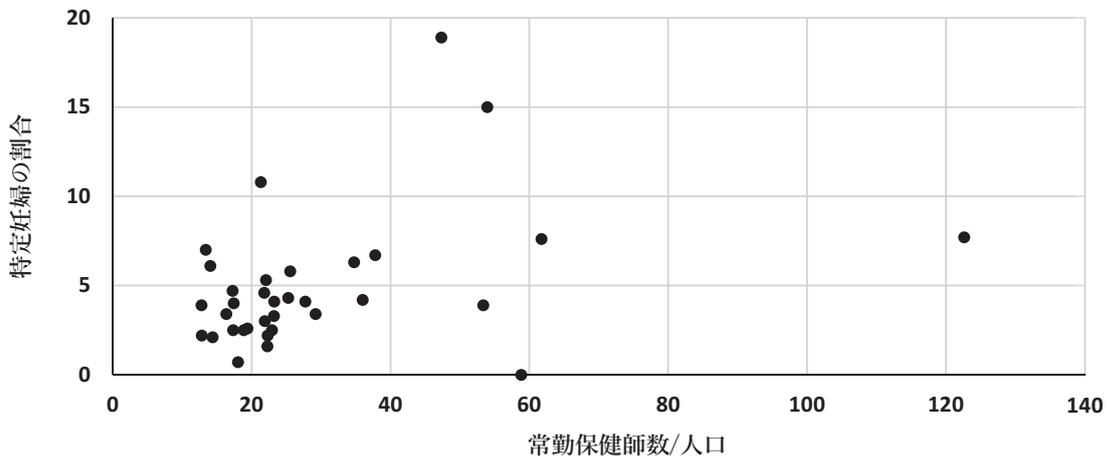


図3. 常勤保健師数と特定妊婦の割合

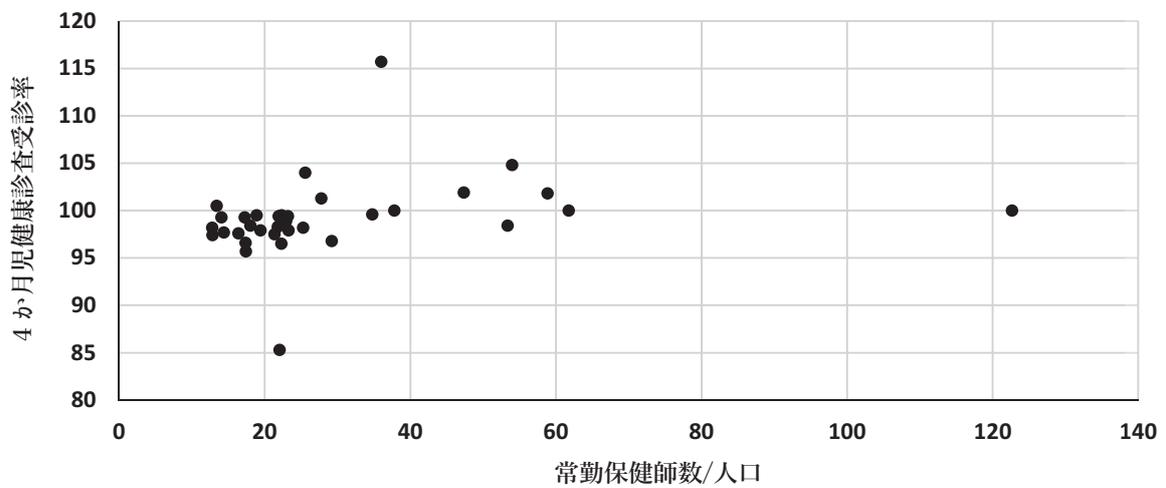


図4. 常勤保健師数と4か月児健康診査受診率

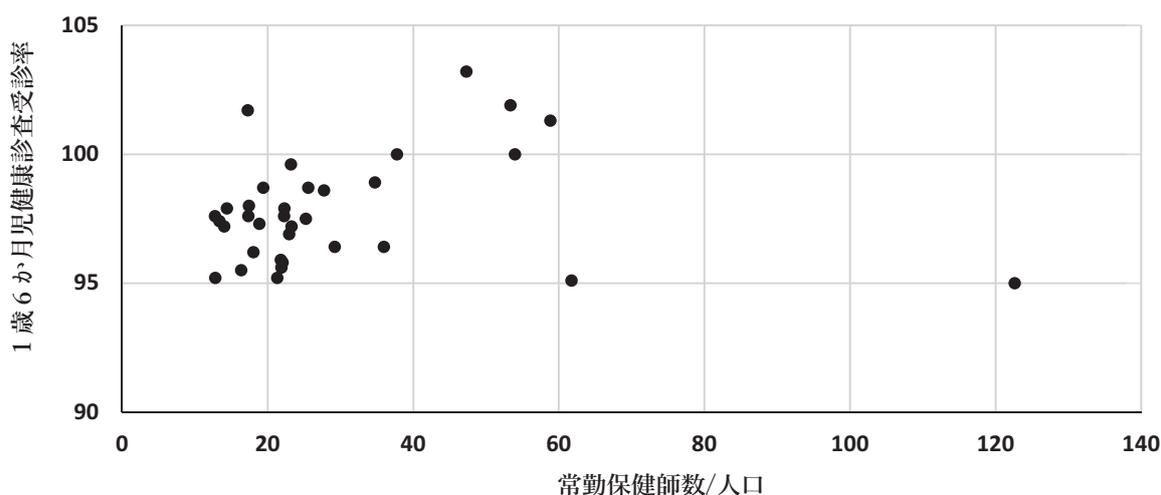


図5. 常勤保健師数と1歳6か月児健康診査受診率

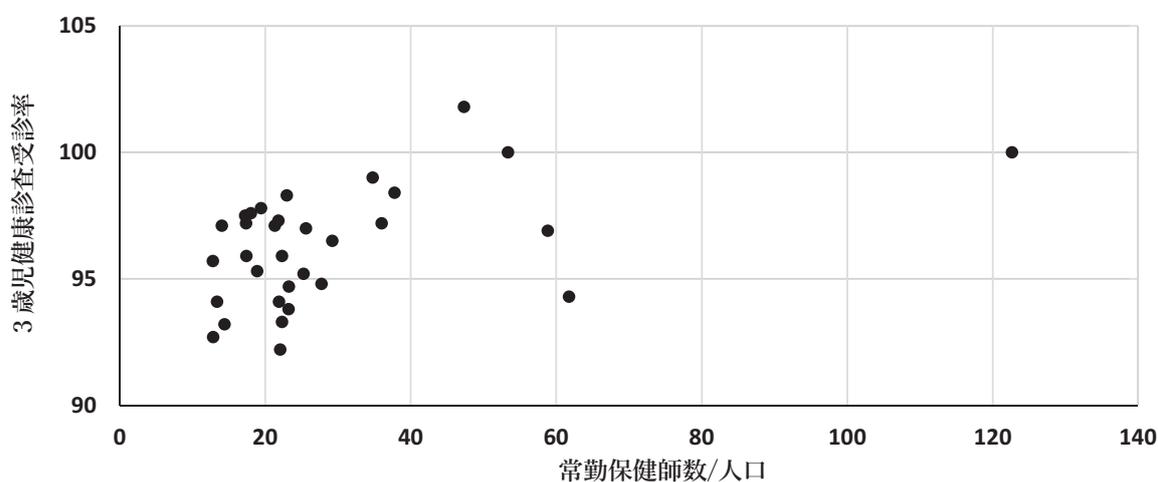


図6 常勤保健師数と3歳児健康診査受診率

参考)

- 1) 大阪府. 令和3年人口動態調査. (<https://www.pref.osaka.lg.jp/kenisomu/syuyoufukusidate/jinkou1.html>) 2023.11.22
- 2) 厚生労働省. 令和3年人口動態統計. (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>) 2023.11.22
- 3) 厚生労働省. 人口動態調査. (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>) 2023.11.22
- 4) 大阪府. 令和4年度母子保健関係業務報告.
- 5) 厚生労働省. 令和3年度地域保健・健康増進事業報告. (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/32-19.html>) 2023.11.22
- 6) 総務省. 令和5年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査. (https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/daityo/jinkou_jinkoudoutai-setaisuu.html) 2023.11.22

- 7) 令和4年度保健師活動領域調査. (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/139-1.html>)
2023.11.22
- 8) 日本疫学会. はじめて学ぶやさしい疫学 (改訂第3版). 東京: 南江堂, 2018; 119-20.

(文責: 谷川・馬場)

4 母子保健情報センター業務報告

＜母子保健調査室＞

母子保健調査室は、2014年度の組織改正により、企画調査部地域保健室の業務と企画調査部企画調査室の研修・広報・図書活動等を行う部署となった。

2022年の所属常勤職員は医師1名、保健師3名（大阪府より派遣：2名、機構採用：1名）、兼務事務職員2名（総括マネージャー、再雇用職員）で、非常勤職員は保健師、事務職員、司書である。さらに、後述する大阪府委託事業の思いがけない妊娠の相談窓口「にんしんSOS」に非常勤職員として保健師・助産師が、環境省委託事業の「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」（以下、「エコチル調査」とする）を担当するエコチル調査室に様々な職種の非常勤職員が在籍している。

I. 母子保健活動とそれにかかわる情報発信・多機関連携

1. 保健師活動

1) センター利用者の保健相談（指導）と地域保健機関との連携支援

母子保健調査室の保健師により実施した保健指導は1,599件であった。

そのうち、母子医療センター新生児科入院児の保護者、及び小児医療で高度医療を受けた児の保護者や社会的ハイリスク妊婦（母性）を対象とした保健指導は874件（初回保健相談は686件、継続保健相談は188件）であり、前年の918件から微減した。（表1）。入院中に実施する病棟面接で最も多いのは母性の301件で、その次に多いのは新生児の219件であった。また、外来面接で最も多いのは母性の93件で、次点は小児医療の53件であった。外来面接のうち半数以上が継続面接であった。初回と継続及び病棟と外来を合計した母性の面接は394件で、全体（874件）に占める母性患者の割合が多い状況が継続していた。

また、発達外来に通院する児とその保護者に対して、公衆衛生看護の立場からの育児支援を目的とした保健指導数は725件であり、昨年732件とほぼ同様であった。内訳は新生児科479件、循環器科143件、小児外科103件であった（図1）。

表 1. 面接による保健相談数（2022年）

相談方法	面接区分	初 回	継 続	合 計
病棟面接	新生児	200	19	219
	小児医療	119	35	154
	母 性	239	62	301
	そ の 他	5	2	7
外来面接	新生児	6	16	22
	小児医療	39	14	53
	母 性	56	37	93
	そ の 他	22	3	25
小 計		686	188	874 (918)
発達外来*				725 (732)
総計				1,599

* 発達外来についての面接区分は図を参照のこと
（保健師業務システム：面談日報データ、予約患者一覧表より作成）

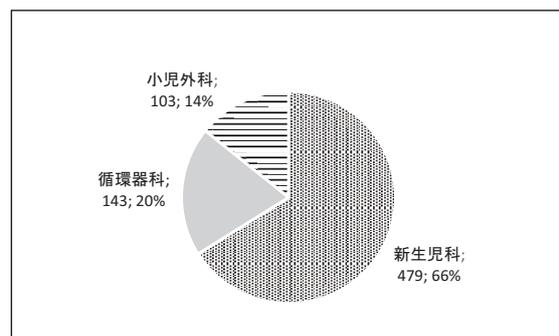


図 1. 発達外来での保健相談（2022年）n=725

退院後の支援が必要な事例については、適切な支援が速やかに実施されるよう地域保健機関に要養育支援者情報提供票を作成し送付した（表2）。2022年の1年間で602件の提供票を発送し、送付先内訳としては、大阪府内が532件、府外が70件であった。府内では堺市、大阪市、和泉市への依頼が、府外では近接する和歌山県、奈良県への発送が多かった。情報提供票の返信として対応結果票を受理した件数は428件と、7割ほどであった。年末発送の情報提供票に対する対応結果票が2023年に送付されるため、最終的な対応結果票受理率は7割よりも高くなることが見込まれる。

表2. 大阪府内保健所・市町村／府外別 要養育支援者情報提供票発送数及び対応結果票受理数（2022年）

大阪府内保健所・市町村／都府県		発送数		受理数※			
大阪府	府保健所	池田	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		茨木	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		守口	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		四條畷	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		藤井寺	3	(0.5%)	2	(0.5%)	
		富田林	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		和泉	3	(0.5%)	2	(0.5%)	
		岸和田	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		泉佐野	2	(0.3%)	0	(0.0%)	
	政令指定都市	大阪市	34	(5.6%)	28	(6.5%)	
		堺市	194	(32.2%)	139	(32.5%)	
		高槻市	2	(0.3%)	2	(0.5%)	
		東大阪市	12	(2.0%)	12	(2.8%)	
		豊中市	4	(0.7%)	1	(0.2%)	
		枚方市	2	(0.3%)	0	(0.0%)	
		八尾市	13	(2.2%)	6	(1.4%)	
		寝屋川市	0	(0.0%)	0	(0.0%)	
		吹田市	3	(0.5%)	1	(0.2%)	
		市町村保健センター等	池田市	3	(0.5%)	3	(0.7%)
			豊能町	0	(0.0%)	0	(0.0%)
	箕面市		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	能勢町		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	摂津市		1	(0.2%)	1	(0.2%)	
	茨木市		1	(0.2%)	0	(0.0%)	
	島本町		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	守口市		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	門真市		1	(0.2%)	1	(0.2%)	
	四條畷市		2	(0.3%)	2	(0.5%)	
	交野市		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	大東市		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	柏原市		2	(0.3%)	2	(0.5%)	
	松原市		8	(1.3%)	6	(1.4%)	
	羽曳野市		5	(0.8%)	1	(0.2%)	
	藤井寺市		2	(0.3%)	0	(0.0%)	
	大阪狭山市		15	(2.5%)	12	(2.8%)	
	富田林市		21	(3.5%)	17	(4.0%)	
	河内長野市		14	(2.3%)	12	(2.8%)	
	河南町		2	(0.3%)	2	(0.5%)	
	太子町		1	(0.2%)	1	(0.2%)	
	千早赤坂村		0	(0.0%)	0	(0.0%)	
	和泉市		87	(14.5%)	62	(14.5%)	
	泉大津市	11	(1.8%)	7	(1.6%)		
高石市	11	(1.8%)	10	(2.3%)			
忠岡町	1	(0.2%)	1	(0.2%)			
岸和田市	37	(6.1%)	27	(6.3%)			
貝塚市	13	(2.2%)	8	(1.9%)			
泉佐野市	5	(0.8%)	3	(0.7%)			
熊取町	5	(0.8%)	4	(0.9%)			
田尻町	0	(0.0%)	0	(0.0%)			
泉南市	7	(1.2%)	5	(1.2%)			
阪南市	5	(0.8%)	2	(0.5%)			
岬町	0	(0.0%)	0	(0.0%)			
大阪府合計		532	(88.4%)	382	(89.3%)		
他府県	京都府	4	(0.7%)	3	(0.7%)		
	奈良県	12	(2.0%)	11	(2.6%)		
	和歌山県	15	(2.5%)	8	(1.9%)		
	兵庫県	11	(1.8%)	7	(1.6%)		
	その他	28	(4.7%)	17	(4.0%)		
他府県合計		70	(11.6%)	46	(10.7%)		
総計		602	(100.0%)	428	(100.0%)		

(564)

※ 2022年に発送した要養育支援者情報提供票に対する対応結果票受理数（2022年末時点）

2) 病院内外の連携業務及びカンファレンス

院内連携業務2,654件のうち、最も多い連携分野は母性で、なかでも看護師が多かった。小児医療分野では、看護師だけでなく、患者支援センターMSWとの連携業務も多かった。(表3)。院外に対しては、地域保健機関、地域児童福祉機関等と連携して支援を行っており、年間で2,438件の連携業務を実施した。最も多い連携先は市町村保健センター(2,218件)であるが、在宅高度医療児の支援の場合は保健所(199件)と連携した(表4)。カンファレンスでは、養育問題を抱えている事例に対して、情報の共有やアセスメント、援助方針の協議等を行っており、地域(院外)カンファレンスに35回、院内カンファレンスに57回の計92回参加した(表5)。

表3. 院内連携業務(2022年)

相談対象	医師	看護師	MSW	心理	P T	院内職員 その他	総計
新生児	38	496	75	47	0	3	659
小児医療	36	370	198	15	2	9	630
母性	12	1,138	140	4	0	11	1,305
その他	14	31	13	0	0	2	60
総計	100	2,035	426	66	2	25	2,654

(保健師業務システム：面談日報データより作成)

表4. 院外連携業務(2022年)

相談対象	保健所	市保健センター	他医療機関	児童相談所	家児相	市町村福祉課	通園施設	保育所	幼稚園	小学校	中学校	その他関係機関	総計
電話発信	91	1,572	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	1,670
電話受信	106	643	0	0	8	4	0	0	0	0	0	1	762
文書*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
面談	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
総計	199	2,218	0	1	10	8	0	0	0	0	0	2	2,438

(保健師業務システム：面談日報データより作成)

*要養育支援者情報提供票の授受は含まない

表5. カンファレンス (2022年)

カンファレンス対象区分			カンファレンス参加者職種																				小計	総計							
			院 内										関 係 機 関																		
			産科医師	母性内科医師	新生児科医師	小児医療部門医師	看護師	M S W	心理	P T	保健師	院内職員その他	小計	市町村保健センター	他医療機関	児童相談所	家児相	市町村福祉課	通園施設	保育所	幼稚園	小学校			中学校	関係機関その他					
区分	カンファレンス内容	回数	在宅看護への支援	13	0	1	2	14	40	18	5	1	13	0	94	4	6	28	7	5	0	0	0	0	0	0	0	0	30	80	174
院外	障害受容困難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	育児能力、体制の不備	15	1	4	6	1	52	20	0	0	15	0	99	0	23	0	29	28	4	0	2	0	0	0	0	0	4	90	189		
	多問題を抱える	4	1	3	2	1	13	8	0	0	4	0	32	0	6	0	8	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0	27	59		
	被虐待児及び疑い	3	0	0	1	4	9	3	0	0	3	0	20	1	4	4	5	6	4	0	0	0	0	0	0	0	3	27	47		
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	35	2	8	11	20	114	49	5	1	35	0	245	5	39	32	49	48	12	0	2	0	0	0	0	0	37	224	469		
	院内	在宅看護への支援	28	0	0	4	40	80	33	23	3	27	2	212																0	212
障害受容困難		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																0	0	
育児能力、体制の不備		13	1	1	8	7	32	15	3	0	12	0	79																0	79	
多問題を抱える		2	0	0	2	2	0	0	2	0	4	0	10																0	10	
被虐待児及び疑い		7	1	1	2	11	20	11	1	0	7	0	54																0	54	
その他		7	0	0	6	7	23	1	6	0	9	0	52																0	52	
小計		57	2	2	22	67	155	60	35	3	59	2	407																0	407	
総計	92	4	10	33	87	269	109	40	4	94	2	652	5	39	32	49	48	12	0	2	0	0	0	0	0	37	224	876			

(保健師業務システム：面談日報データより作成)

2. 地域保健機関に対する支援及び情報発信

1) 地域保健機関における母子保健活動推進のための技術的支援や実習

母子保健の水準向上に寄与すべく、地域保健機関に対し事例の相談対応や、事例検討会におけるスーパーバイズなど、技術向上への支援を行った。

2013年に母子保健法の改正により未熟児支援が都道府県（保健所）から市町村に移管され、移管前の2012年より継続して当センター複数部署の協力を得て市町村保健師等に研修を行った。また、大学生に対して公衆衛生看護や公衆衛生についての講義・実習を行った(表6)。

表6. 母子保健関連実習・研修 (2022年)

分別	依頼内容	機関 対象	人数	日時	対応
研修	保健師母子研修 (オンライン)	府保健所・市町村母子担当保健師等	142	6月10日	母子保健調査室 (保健師)
			137	7月14日	
			129	1月31日	
研修	母子保健コーディネーター育成研修 (オンライン)	府保健所・市町村母子保健に従事する保健師等	50	8月31日	母子保健調査室 (保健師)
実習	発達外来保健師面談見学	初期研修医師	1	1月23日	母子保健調査室 (保健師)
			1	2月21日	
実習	地域母子保健論 臨床講義 (オンライン)	宝塚大学 助産学専攻科学生	10	6月2日	母子保健調査室 (保健師)
		甲南女子大学 助産師学科学生	4		
実習	公衆衛生学実習 (オンライン・対面)	大阪大学 医学部医学科学生	3	6月2日 -10月13日	母子保健調査室 (医師)

実習	母性看護学分野講義 (オンライン)	大阪府立大学看護学部学生	13	7月19日	母子保健調査室 (保健師)
実習	助産学実習 (対面)	甲南女子大学 助産師学生	4	8月3日	母子保健調査室 (保健師)
見学	にんしんSOS 事業見学	滋賀県にんしんSOS スタッフ	3	6月23日	母子保健調査室 (保健師)

2) 母子保健情報センター報告書の発行

母子保健情報センターの前身である企画調査部は、病院開設当初の1981年に設置された。大阪府の母子保健推進のため、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修・教育を実施してきた。また、地域の関連機関と連携し、院内の患者支援のみならず地域の母子保健の推進を行ってきた。大阪母子医療センターで行われている母子保健活動を横断的に取りまとめ、発信することで、患者支援における保健機関との更なる連携強化、大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的として、2016年度からは母子保健情報センター報告書を作成した。2017年度報告書では「健やか親子21の推進」に向けたデータ整備、2018年度報告書では、母性部門を中心とした社会的ハイリスク妊婦支援のとりくみと、大阪府委託事業である「にんしんSOS」、2019年度報告書では、地域診療情報連携システムである「南大阪MOCOネット」、2020・2021年度報告書では、院内における新型コロナウイルス感染症対応について特集を組んだ。

3. WHO協力センター活動及び情報発信

WHO協力センター (WHO Collaborating Centre for Maternal and Child Health) として1991年7月11日に指定を受け、現在においてもわが国で唯一の母子保健分野における協力センターである。WHO西太平洋地域事務所と協力して4年に1度の更新手続きを進め、承認された。2021年2月-2025年2月の期間に実施すべきTerm of Reference (業務内容) (日本語仮訳) は、以下の通りである。

- TOR01 WHOの提唱する早期必須新生児ケア (EENC) の実施評価を支援すること
- TOR02 国際基準のカンガルー・マザー・ケア (KMC) を継続的に実施すること
- TOR03 施設内での出産に際する軽蔑や虐待を防止・排除に関するWHOの活動と研究を支援すること

4. 委託事業

1) 大阪府委託事業：「にんしんSOS」

大阪府からの委託を受け、2011年10月から電話及びメールによる思いがけない妊娠で悩む人の相談事業「にんしんSOS」を実施している。助産師や保健師から成る相談員10名のうち原則2名が従事し、週6日 (平日5日+日曜日) 稼働した。相談対応以外に、相談員相互の情報交換やケース検討のため一か月に1回連絡会を行った。また、質の向上のため、自主研修や定期研修を行った。センター内の関係者からの意見をより委託事業に反映する

ため、2018年4月より委託事業運営委員会を設置し、年に1回委員会を開催した。また、産科医師、外来及び病棟の看護部門、母子保健調査室保健師・医師等からなるワーキンググループを設置して、地域への紹介事例や母子医療センターへの紹介事例などの情報交換を隔月で行った。

2022年度（速報値）の電話相談実件数は464件、メールは912件、電話相談延（累積）件数は538件、メール1582件、であった。メールによる相談が多かった。また、府内からの相談は44.5%、府外からの相談は50.6%、不明4.9%であった。関係機関への連絡を電話38件、メール107件行った（延べ件数）。啓発活動として、保健・医療機関、府立高校196校、私立高校108校、旧市立21校に加え、複合カフェ（いわゆるネットカフェ）64店舗、イオン・ローソンに、「にんしんSOS」ステッカー・チラシ（A4サイズ）合計約24000枚を送付した。

2) 大阪府委託事業：「医療機関における児童虐待防止体制整備フォローアップ事業」

地域の医療機関等の児童虐待対応のネットワークづくり、医療保健関係者への研修、連絡会等を行い、医療機関における児童虐待対応、発生予防、早期発見の対応能力の強化を図ることを目的に2017年度より「児童虐待防止医療ネットワーク事業」を大阪府より受託し3年間実施した。その後継事業として、2020年度より3年間「医療機関における児童虐待防止体制整備フォローアップ事業」を受託した。拠点病院は、大阪府北部を担当する愛仁会高槻病院と、南部を担当する当センターであった。

医療機関は児童虐待を発見しやすい立場にあり、児童虐待を疑わせる児童の受診も多いことをふまえて、大阪府では2017年度より救急告示医療機関の認定条件に、「児童虐待に組織として対応するための院内体制整備」が要件化され、2018年度より運用を開始した。本ネットワーク事業及びフォローアップ事業は、これにより整備できた院内体制を、各医療機関が点検・改善し、より実効性の高い児童虐待防止体制を地域医療全体で整備することを目的としていた。2022年度も、2020,2021年度に引き続き救急告示医療機関等における児童虐待対応体制に関する調査・分析を行った。また、高槻病院と協同して研修会を4回行い、そのうち2回は当センターが事務局となって「児童虐待対応の仕組み・医療と福祉の連携」（参加者：59名）、「BEAMSプログラムstage1」（参加者：92名）を開催した。その結果、大阪府において本事業目的を達成されたとの判断となり、委託事業は今年度までで終了となった。

3) 環境省委託事業：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

2010年に環境省より事業を受託した、妊娠期からの出生コホート研究事業である。全国15か所のユニットセンターの1つである大阪ユニットセンターは、大阪大学と当センターで構成され、当センターにおいては、母子保健調査室に設置したエコチル調査室が、調査運営を行っている。対象地域は和泉市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町の9市町である。

エコチル調査室では、全数に行う調査に加え、約5%に行う詳細調査（家庭訪問による環境測定等調査、児の医学的検査や精神発達検査）を2014年12月から実施している。

2021-2022年度は、8歳詳細調査を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大により調査を中止した期間や、参加者やご家族の感染による日程調整困難などの影響により、6歳詳細調査時よりも参加数は少なかった。

全数に行う調査として実施している乳歯調査について、エコチル調査室では、各種媒体を利用した調査協力の呼びかけ、協力可否についての登録作業、乳歯回収キットの発送を行った。

その他の活動として、2022年9月29日及び2023年3月9日にエコチル調査地域運営協議会を開催し、エコチル調査の進捗状況、調査分析結果等を報告した。

また、広報活動の一環として、引き続き大阪ユニットセンターのホームページを担当した。「子育て応援コラム」では、「熱中症について」、「身長と思春期」、「ノロウイルス 嘔吐への対応」、「百日咳とワクチン」記事を掲載した。また「わかってきたこと」として、今年度大阪ユニットセンターより発表された学術論文8編について、和文抄録を作成し掲載した。参加者とのコミュニケーションおよび調査継続意欲の促進のため、2022年12月には、お子さん向けのページ「たこチルとあそぼう」を公開し、お子さんからのアクセス増を目的としたパズル問題、調査に関するクイズ、参加しているお子さんから募集した「みんなの絵・メッセージ」の3種類の内容について、随時掲載した。その結果、2022年度の総更新回数は39回、総ページビュー数は238,998件となった。

II. 研修・教育等

• 研修・実地修練受け入れ

国内外から母子医療従事者及び研修者の受け入れ事業を行った。今年は11人の初期研修医（大阪大学医学部附属病院・大手前病院）、18人の実地修練生・研究所研修研究員、88人の臨床実習生（大阪大学医学部・大阪大学歯学部・兵庫医科大学・近畿大学医学部・自治医科大学）を含む1,006人の受託実習生、36人の見学者を受け入れた。また、後述するJICA研修では海外研修員8人に対しウェブ研修を提供した。

• 業務受託による研修

JICA関西から2022年課題別研修「周産期・新生児保健医療」にかかる業務を受託し、11月16日から12月6日まで8カ国8名（ブルンジ1名、コートジボアール1名、グレナダ1名、キリバス1名、リベリア1名、モザンビーク1名、ナイジェリア1名、パプアニューギニア1名）の研修員に対しウェブ会議・オンデマンド配信等による課題・添削形式で研修を実施した。

• センター内職員向け研修の推進

各種院内職員を対象としたセミナーの事務を行い、eラーニングによる研修の運営管理も行った。

• 府民公開講座

第13回きつずセミナー「未来のきみへ 一病院のお仕事2022—」（8月の4日間）、第17回光明池セミナー「ワクチンで防げる病気」（11月12日（土））を開催した。きつずセ

ミナーは123名、光明池セミナーは42名の参加があった。一般向けのセミナーである室堂セミナー（3月）は新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

• 年報・センター雑誌の発行

センターの活動をまとめたデータブックである年報2021年第40号（2022年8月31日）、センターの研究成果などをまとめたセンター雑誌第38巻第1号（2022年11月30日）を発行した。

Ⅲ. 図書活動

① 医学図書室（24時間開館）

医師や看護師など医療従事者対象の医学研究用図書室で、ジャーナルや書籍の貸出、レファレンス、ILLの図書館サービスをおこなっている。

- ・蔵書点検：10月に2F和書・洋書の棚卸を実施し、不明資料の発見や所蔵データの修正を行い、より正確な実態把握ができた。
- ・洋雑誌の冊子体購入は2022年末で終了し、2023年からはすべて電子ジャーナルに移行することとなった。電子ジャーナル・論文の検索環境整備、利用促進を行った。

<蔵書数>（カッコ内は前年の数）

和書	5,508冊（5,450冊）
洋書	1,723冊（1,721冊）
和雑誌	19,937冊（19,259冊）
洋雑誌	36,016冊（35,619冊）

<貸出状況>（カッコ内は前年の数）

貸出冊数	325冊（369冊）
貸出人数	180人（202人）

<文献複写>（カッコ内は前年の数）

センター職員から外部機関への文献依頼	361件（368件）
センター図書室への外部機関からの文献依頼	388件（421件）
（ナクシス/Coimo/FAX受付分含む）	

<データベース等の利用件数>（カッコ内は前年の数）

医中誌Web	7,582件（9,199件）
メディカルオンライン	11,595件（12,062件）
LWW電子ジャーナル	3,113件（2,499件）
Springer Link Hospital Editionv	12,837件（12,025件）
UpToDate	2,550件（2,433件）

ClinicalKey	7,555件 (8,141件)
MEDLINE Complete	1,741件 (4,303件)
Full Text Finder (リンクリゾルバ)	3,381件 (3,645件)

② 親と子のとしょかん (稼働日：284日)

入院患者とその家族を対象とする図書館サービスで、児童書を中心に本の貸出・レファレンス・読書指導をおこなっている。毎週金曜日に病棟を巡回する移動図書館サービスについては、コロナ禍にあつてボランティア活動の継続が困難となつた為、昨年引き続き本年も巡回は休止となつた。

- ・親と子のとしょかん便り「モコつと通信」を月1回刊行し、定期的に親と子のとしょかんの催しやテーマ展示の案内を行った。
- ・蔵書点検：6月に児童書をはじめDVD資料の棚卸を実施し、不明資料の発見や所蔵データの修正をし、書架の整理・点検を行った。
- ・毎月のテーマ展示の他に、時事的な話題に関する本をピックアップ、ミニ展示を実施した。

<蔵書数> (カッコ内は前年の数)

児童書	7,070冊 (6,895冊)
大人用図書	925冊 (917冊)
D V D	498本 (508本)

<貸出状況> (カッコ内は前年の数)

貸出冊数	11,737冊 (11,077冊)
貸出人数	2,464人 (2,493人)

<移動図書館> (カッコ内は前年の数)

巡回日数	0日 (0日)
貸出冊数	0冊 (0冊)
貸出人数	0人 (0人)

(文責：馬場・清水)

<情報企画室>

1. 2022年の業務概要

当センターでは、総合診療情報システム（電子カルテ）を導入しており、院内業務の円滑化、効率化に寄与している。情報企画室では、昨年（2021年）5月にシステム更新を行い、今年も安定的な運用に努めた。

電子カルテシステムの運用では、24時間、365日の安定稼働が求められる。2022年も情報企画室は、現場職員やベンダー技術員と協力し、業務に支障の出るような大きな障害なく、システムの運用を行った。

表1の開発・再開発対応件数については、年間850件（前年736件）と、11.5%増加した。これは、電子カルテシステム更新後2年目となり、運用に工夫をしようとする姿勢の表れと思われる。

表1. 開発・再開発対応件数（2022.1～2022.12）

所属科名	依頼件数	実施件数				
		内訳（X：人日）				
		件数	X < 2	2 ≤ X < 5	5 ≤ X < 10	10 ≤ X
【病院】						
産科	36	36	36	0	0	0
新生児科	26	26	26	0	0	0
母性内科	9	9	9	0	0	0
総合小児科	6	6	6	0	0	0
消化器・内分泌科	82	82	82	0	0	0
腎・代謝科	9	9	9	0	0	0
血液・腫瘍科	8	8	8	0	0	0
小児神経科	24	24	24	0	0	0
子どものこころの診療科	2	2	2	0	0	0
遺伝診療科	3	3	3	0	0	0
呼吸器・アレルギー科	20	20	20	0	0	0
小児循環器科	92	92	92	0	0	0
心臓血管外科	37	37	37	0	0	0
小児外科	57	57	57	0	0	0
脳神経外科	18	18	18	0	0	0
泌尿器科	7	7	7	0	0	0
整形外科	5	5	5	0	0	0
眼科	22	22	22	0	0	0
耳鼻咽喉科	5	5	5	0	0	0
形成外科	3	3	3	0	0	0
口腔外科	16	16	16	0	0	0
麻酔科	48	48	48	0	0	0
集中治療科	54	54	54	0	0	0
放射線科・放射線部門	21	21	21	0	0	0
看護部	60	60	60	0	0	0
病理診断科	2	2	2	0	0	0
薬局	8	8	8	0	0	0
患者支援センター	4	4	4	0	0	0
MEセンター	5	5	5	0	0	0
医療安全管理室	34	34	34	0	0	0
感染管理室	0	0	0	0	0	0

栄養管理室	17	17	17	0	0	0
診療情報管理室	6	6	6	0	0	0
臨床検査部門	13	13	13	0	0	0
リハ・育療支援部門	1	1	1	0	0	0
その他	10	10	10	0	0	0
(小計)	770	770	770	0	0	0
【事務局】						
総務・人事 G	23	23	23	0	0	0
経営企画 G	28	28	28	0	0	0
施設保全 G	0	0	0	0	0	0
医事 G	26	26	26	0	0	0
(小計)	77	77	77	0	0	0
【母子保健情報センター】						
母子保健調査室	1	1	1	0	0	0
図書室	0	0	0	0	0	0
情報企画室	0	0	0	0	0	0
エコチル調査室	0	0	0	0	0	0
(小計)	1	1	1	0	0	0
【研究所】						
病因病態部門	0	0	0	0	0	0
分子遺伝病研究部門	0	0	0	0	0	0
免疫部門	0	0	0	0	0	0
骨発育疾患研究部門	0	0	0	0	0	0
環境影響部門	2	2	2	0	0	0
(小計)	2	2	2	0	0	0
合計	850	850	850	0	0	0

表2の問い合わせ対応件数については、年間8,344件（前年9,993件）と、16.5%減少した。これは、電子カルテシステムの更新後1年が経過し、運用が定着してきたものと思われる。

表2. 総合診療情報システム問い合わせ対応件数 [部署別] (2022.1~2022.12)

所属	2022年												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
事務局	132	118	174	189	139	145	90	125	138	126	120	134	1630
母子保健調査室	83	77	93	103	78	76	39	89	77	85	74	90	964
病院管理部門・医局	189	179	225	260	193	208	152	179	158	154	153	159	2209
小児外来	31	19	34	45	30	38	31	29	34	24	26	29	370
母性外来	5	8	17	11	10	14	14	13	13	6	8	8	127
母性東棟	20	10	19	25	14	22	27	17	25	25	21	18	243
母性西棟	15	11	14	7	9	14	19	5	11	8	5	14	132
分娩部	23	21	16	23	21	11	15	14	10	14	19	20	207
ICU	19	17	11	25	21	17	20	21	19	13	21	17	221
手術室	18	10	28	29	14	14	18	20	9	14	22	21	217
新生児棟	20	14	17	21	21	15	12	8	15	18	11	20	192
1階東棟	4	4	5	4	9	3	10	3	9	3	6	13	73
2階東棟	7	10	19	15	15	6	4	5	11	3	6	2	103
3階東棟	9	6	4	10	7	10	8	13	8	3	1	6	85
3階西棟	10	6	13	14	8	6	8	8	2	12	6	7	100
4階東棟	6	6	14	11	6	8	13	14	15	14	9	15	131
4階西棟	6	5	18	10	14	11	4	5	4	10	10	4	101

5階東棟	10	5	8	12	10	11	11	14	7	11	12	9	120
5階西棟	10	6	7	5	11	6	8	11	7	7	4	5	87
検査科	15	21	24	23	12	14	8	18	12	8	16	20	191
放射線科	5	5	6	9	6	10	15	3	2	4	6	11	82
薬局	45	39	72	65	38	29	43	39	47	55	42	51	565
中央滅菌材料室	4	2	2	3	1	2	4	2	4	3	2	2	31
研究所	12	13	8	2	4	1	3	8	5	2	4	2	64
その他	10	7	3	8	9	6	16	15	6	9	2	8	99
合計	708	619	851	929	700	697	592	678	648	631	606	685	8344

また、表3のインターネットシステム関連業務対応件数は、1,684件（前年2,015件）と、16.4%減少した。これは、2020年度から導入したWeb会議について、運用の安定化に伴い利用者の習熟度も増し、問い合わせが減少しているものと思われる。

従来のソフト保守作業等は、主に以下のとおりである。

表3. インターネットシステム関連業務対応件数（2022.1～2022.12）

対応内容	2022年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
クライアント対応	47	45	50	58	40	46	40	55	31	32	56	37	537
通信環境設定対応	43	43	52	82	15	11	16	41	17	28	14	14	376
ホームページ更新対応	0	0	0	1	0	0							1
ウイルス対応	1	2	5	5	21	11	4	7	2	4	6	8	76
ハード対応	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	5
メールアカウント対応	37	41	63	133	79	59	48	37	52	54	28	49	680
インターネットサーバ対応	0	0	0	1	0	2	3	1	1	0	1	0	9
合計	128	132	170	281	156	129	111	141	103	118	105	110	1684

※ホームページリニューアルに伴い、2022年7月より更新対応件数はカウントしなくなりました。

【主なソフト保守等項目】

- 輸血認証ツールでの患者ネームバンドのバーコードを用いた患者確認
- GAIA（PICU）システムにおける注射ラベルコメント内容の印字
- 薬剤師の休日2名体制に伴う注射約に関する締切時間のシステム設定変更
- 医師記録検索時の説明記録・面談テンプレートの表示
- 食種「軽食H」の追加
- NICU新生児時加算の管理に伴うシステム改修

2. 2022年の活動

【診療情報システム（電子カルテ）】

第7期総合診療情報システムを安定稼働させた。また、2022年10月に発生した急性期センターのサイバー攻撃（ランサムウェア感染）事案に伴い、外部接続機器に関する安全性の確認を行った。

診療情報システムに関連する作業として、主に次のものを実施した。

- 地域医療連携システム（南大阪MOCOネット）のシステム運用
- 小児医療情報システム（小児治験ネットワーク）事業（継続）
- AIホスピタル（DPC・QIベンチマーク）事業
- オンライン資格確認システムの導入支援
- 2期メディカルゲート第2弾の運用支援
- eラーニングシステムの技術支援
- 薬学生実習対応
- 外部接続機器の安全性の調査

表4-1-1. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数（2022.1～2022.12）

オーダ内容	2022年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
指導料	3506	3323	3979	3631	3552	3730	3580	3725	3717	3583	3512	3660	43,498
服薬指導実施	407	325	417	424	560	652	691	763	718	664	636	573	6,830
病名	4660	4660	5219	5178	4435	4435	5306	5564	5229	5312	5356	5596	60,950
D P C	4133	2772	4260	3328	3316	3045	3066	4368	4091	3593	3671	4164	43,807
入院	1948	1496	1944	1906	2003	2095	2221	2276	2093	2044	2095	2048	24,169
退院	1752	1543	1928	1872	1977	1981	2088	2304	1995	2101	2017	2223	23,781
転科	26	38	49	22	20	22	39	35	28	28	26	32	365
転棟	319	279	272	333	281	348	323	344	294	316	253	314	3,676
転室・転床	1009	902	971	952	838	934	1047	1000	991	1058	1017	1050	11,769
外泊・外出	260	180	256	213	294	326	339	324	365	375	324	387	3,643
帰院	284	176	263	213	291	352	352	314	365	399	337	402	3,748
入院申込	2257	1906	2463	2422	2428	2511	2672	2825	2526	2400	2379	2442	29,231
担当変更	866	800	860	894	783	749	840	934	830	940	794	858	10,148
退院許可	1759	1560	1948	1894	1995	1990	2116	2345	2029	2113	2034	2233	24,016
転棟申込	1	2	3	0	0	2	11	8	0	6	2	2	37
食事オーダ	4506	3350	4228	4082	4136	4716	5208	4755	4232	4842	4657	5177	53,889
検体検査	11565	10892	13352	11992	11110	11635	12285	13834	12537	11939	11688	12589	145,418
一般細菌検査	1127	1040	1305	1233	1137	1239	1258	1228	1243	1244	1231	1296	14,581
抗酸菌検査	3	1	8	7	6	1	4	1	0	1	0	0	32
輸血検査	766	691	829	767	709	781	805	832	785	813	770	809	9,357
解剖検査	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5
病理診断	77	51	70	84	82	93	85	93	106	74	87	92	994
細胞診	9	0	12	2	9	9	7	7	8	5	9	7	84
細胞診（婦人科）	72	53	78	68	45	64	74	59	54	59	61	61	748
薬剤血中濃度	336	296	375	385	373	371	353	426	299	325	303	407	4,249
解剖検査（死産時）	4	2	3	4	1	2	3	4	0	2	1	0	26
胎盤検査	169	140	157	183	167	160	157	193	181	184	168	185	2,044
染色体検査	7	1	3	4	6	7	6	4	4	5	7	0	54
迅速検査結果加算	1288	1183	1729	1356	1375	1415	1498	1731	1522	1403	1333	1497	17,330
一般検体	10943	10107	12355	11409	10445	10990	11460	12751	11845	11414	11118	12010	136,847
一般細菌歴	1003	893	1170	1066	999	1112	1107	1080	1080	1084	1090	1155	12,839
抗酸菌歴	2	1	3	4	3	1	3	1	0	1	0	0	19
血液／輸血関連検査報告書	1159	1009	1187	1122	1033	1143	1251	1207	1143	1224	1092	1166	13,736
病理解剖記録	4	8	3	3	4	4	3	4	5	1	1	1	41
病理組織	70	55	58	86	81	101	91	85	90	85	90	99	991
細胞診	72	62	76	82	52	66	77	72	61	63	64	75	822
胎盤組織	153	149	169	173	175	151	167	186	174	187	171	173	2,028
一般撮影	1409	1296	2027	1394	1363	1563	1533	2004	1560	1439	1437	1985	19,010
ポータブル	971	863	1076	978	894	949	989	972	981	1060	1028	1092	11,853

透視・造影検査	79	104	78	83	90	70	65	69	86	80	95	78	977
C T検査	294	267	356	266	263	296	279	368	280	294	308	345	3,616
MR検査	219	235	253	221	212	229	214	240	241	242	221	225	2,752
R I検査	30	18	75	28	62	70	33	63	23	55	39	55	551
骨密度測定	46	29	75	42	26	32	24	57	25	20	36	51	463
血管撮影	60	43	43	56	37	54	44	65	49	51	37	44	583
超音波	328	310	404	341	333	378	347	427	371	351	341	352	4,283
放射線治療申込	1	5	0	1	1	1	0	1	8	0	3	5	26
画像持出・取込	185	150	215	201	209	218	187	229	189	160	181	251	2,375
画像診断依頼	12	9	8	5	3	4	4	5	1	6	8	7	72
歯科撮影	8	2	7	3	5	3	6	4	6	2	3	8	57
術中透視	40	24	24	32	39	30	36	39	39	49	24	31	407
放射線治療	41	118	72	8	13	8	5	15	111	26	133	89	639
(実)一般撮影	2016	1782	2553	2029	1914	2156	2107	2475	2141	2134	2169	2261	25,737
(実)透視・造影検査	89	106	84	99	110	82	70	77	104	102	110	89	1,122
(実)C T検査	269	223	315	238	259	286	273	334	261	268	295	313	3,334
(実)MR検査	161	169	178	164	175	189	188	214	202	178	173	156	2,147
(実)R I検査	14	9	39	16	36	38	15	36	13	28	17	25	286
(実)骨密度測定	36	25	63	30	21	27	18	38	17	18	30	39	362
(実)血管撮影	39	23	31	37	27	47	38	50	39	35	32	27	425
(実)超音波	269	239	321	272	257	314	261	325	293	277	273	271	3,372
(実)放射線治療	17	49	42	4	15	9	0	12	60	22	80	46	356
(実)画像持出・取込	191	138	212	195	208	220	194	230	186	170	166	251	2,361
(実)画像診断依頼	12	7	7	2	3	1	3	4	1	5	5	3	53
(実)歯科撮影	8	2	7	3	4	4	2	3	5	2	3	4	47
(実)術中透視	66	41	27	47	50	43	46	50	48	68	28	47	561
放射線レポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線画像	2545	2229	3169	2531	2407	2710	2623	3106	2647	2647	2689	2820	32,123
放射線治療	0	3	0	1	1	1	0	1	7	0	4	4	22
一般撮影レポート	11	3	6	6	4	0	6	3	5	2	4	1	51
透視・造影検査レポート	5	5	5	9	11	12	4	6	8	6	2	4	77
C T検査レポート	200	194	240	184	179	210	226	290	220	231	203	258	2,635
MR検査レポート	149	146	152	150	144	164	184	187	176	180	152	152	1,936
R I検査レポート	5	2	8	5	10	15	8	12	2	11	8	7	93
血管撮影レポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
超音波レポート	283	247	339	283	261	314	278	338	298	289	304	285	3,519
心カテレポート	31	37	67	44	32	38	33	60	33	67	36	30	508
画像持出・取込レポート	13	13	3	14	7	12	12	23	7	10	7	7	128
画像診断依頼レポート	11	6	7	2	0	2	3	4	1	3	2	2	43
内視鏡検査	122	139	184	168	125	194	165	191	156	143	154	146	1,887
内視鏡検査レポート	24	29	28	36	25	32	33	34	34	25	20	22	342
内視鏡検査画像	109	128	177	157	118	182	157	183	144	133	140	136	1,764
院内処方	491	491	536	548	496	486	616	577	527	540	526	549	6,383
院外処方	4551	4347	5295	4629	4610	4540	4529	4781	4744	4489	4516	4887	55,918
入院普通処方	2497	2027	2538	2627	2417	2781	2665	2603	2451	2561	2522	2526	30,215
退院処方	736	611	746	802	786	745	804	869	797	832	760	827	9,315
入院至急処方	1348	1169	1397	1363	1256	1234	1486	1456	1428	1573	1463	1613	16,786
済処方	17	15	17	11	16	28	28	30	28	23	22	25	260
院内麻薬処方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊処方	21	16	24	12	25	19	17	23	26	27	16	20	246
宅配処方	13	11	12	10	14	10	14	12	11	12	11	12	142
入院済処方	299	209	251	293	274	246	278	291	297	307	263	293	3,301
検査処方	92	95	114	82	106	109	88	94	103	98	86	94	1,161
入院麻薬処方	0	0	0	0	0	0	1	0	8	1	0	0	10
疑義照会(処方)	7	5	1	0	0	2	1	4	0	1	1	1	23

表4-1-2. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数 (2022.1~2022.12)

オーダ内容	2022年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
次回検査処方	185	134	232	184	188	166	172	215	208	175	162	238	2,259
外来治験処方	5	4	8	4	3	8	6	3	13	8	10	13	85
入院治験処方	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4	7
入院検査処方	8	6	6	7	6	7	6	7	2	6	3	5	69
服薬指導依頼	8	7	4	14	11	5	6	6	2	3	4	6	76
入院次回検査処方	29	21	32	19	30	35	29	27	29	32	42	25	350
服用中断再開指示	587	453	502	486	503	428	587	420	318	438	363	481	5,566
服用中止指示	146	124	114	128	116	143	104	99	98	133	94	135	1,434
飲み切り終了指示	4	8	6	4	0	2	7	0	2	10	4	4	51
服用中止変更	4	8	6	4	0	2	7	0	2	10	4	4	51
持参薬報告	101	97	135	128	117	170	154	153	155	137	139	103	1,589
持参薬処方	85	62	93	91	80	95	98	98	109	98	78	58	1,045
服薬指導レポート	559	451	554	565	682	806	828	938	845	792	775	720	8,515
予約注射	534	514	692	656	683	692	638	789	748	654	576	596	7,772
入院一般注射	16780	15717	18297	17545	17278	20341	21927	22102	17293	21490	23115	23041	234,926
当日注射	436	433	547	505	446	571	736	689	590	630	575	700	6,858
入院臨時注射	9921	7934	8778	8750	8046	7409	8501	8247	7644	8271	8120	8114	99,735
実施済注射	337	366	368	121	106	89	225	283	313	380	417	381	3,386
特殊予約注射	225	236	312	263	246	256	271	273	249	233	627	305	3,496
入院治験注射	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症ストック注射	5203	5261	6994	6101	4272	3910	5109	5595	5724	5318	6275	7286	67,048
抗がん剤注射	271	190	202	281	147	293	202	311	266	283	370	260	3,076
実施確認	45	36	31	60	24	37	26	34	43	42	45	33	456
点滴速度変更	165	138	173	148	167	222	228	205	151	233	217	212	2,259
血糖・インスリン注射	1251	976	2779	2345	1510	2179	1546	994	1047	1453	2153	1511	19,744
払出注射	1434	1155	1616	1571	1295	1413	1595	1631	1816	1454	1612	1889	18,481
心電図	450	491	619	521	486	517	452	627	554	526	523	964	6,730
トレッドミル負荷心電図	9	15	10	14	11	9	11	19	19	18	20	24	179
脳波	160	136	216	170	145	146	178	224	160	157	163	147	2,002
心エコー	405	468	575	519	498	549	441	557	560	554	522	971	6,619
心電図(自科検査)	61	42	58	46	39	25	42	51	58	50	44	57	573
心エコー(自科検査)	240	225	277	197	156	170	172	211	169	160	152	177	2,306
胎児心エコー	18	24	26	22	16	21	23	26	24	25	28	24	277
呼吸機能	31	21	58	27	27	25	33	47	37	20	23	29	378
産科エコー	1806	1665	2033	1927	1760	1861	1894	1902	1810	1988	1770	1863	22,279
産科スクリーニングエコー	391	382	456	404	444	454	446	502	464	363	446	412	5,164
各科エコー(自科検査)	656	605	943	873	736	685	845	893	804	686	728	815	9,269
ホルター心電図	33	23	37	25	19	21	45	38	34	36	31	39	381
電気生理検査	11	17	17	23	6	28	16	19	5	10	15	13	180
ABR(耳鼻科)	45	44	56	40	45	53	41	40	37	45	42	274	762
呼吸機能(自科検査)	12	8	26	11	8	12	17	24	17	11	10	18	174
脳波(自科検査)	5	4	5	2	12	4	11	11	7	4	6	6	77
(実)心電図	373	373	503	427	380	444	351	474	446	424	445	431	5,071
(実)トレッドミル負荷心電図	9	13	7	11	9	5	10	16	8	17	14	13	132
(実)脳波	141	104	187	133	120	124	145	178	130	112	117	119	1,610
(実)心エコー	242	246	320	293	276	306	228	318	296	291	308	287	3,411
(実)心電図(自科検査)	63	42	59	47	39	26	43	51	61	51	44	58	584
(実)心エコー(自科検査)	243	231	284	198	157	170	173	211	172	163	153	179	2,334
(実)胎児心エコー	12	14	18	17	13	15	20	22	14	17	19	18	199
(実)呼吸機能	22	14	36	25	20	24	28	39	31	17	21	26	303
(実)産科エコー	1808	1668	2039	1938	1769	1862	1892	1907	1807	1993	1772	1864	22,319

(実)産科スクリーニングエコー	310	288	368	313	351	347	343	374	370	289	355	314	4,022
(実)各科エコー(自科検査)	664	608	945	877	741	686	849	898	803	689	737	807	9,304
(実)ホルター心電図	30	25	34	22	19	16	44	31	29	25	24	25	324
(実)電気生理検査	11	16	17	23	6	28	16	19	5	10	15	13	179
(実)呼吸機能(自科検査)	12	8	26	12	10	12	17	24	17	12	10	20	180
(実)脳波(自科検査)	6	4	5	2	12	4	11	11	7	4	6	7	79
生理検査レポート	1411	1307	1767	1561	1391	1568	1330	1742	1590	1438	1503	1529	18,137
生理画像	3482	3211	4222	3789	3473	3622	3659	3993	3645	3635	3542	3655	43,928
同意書	3942	3252	3923	3754	3858	3960	3979	4301	3735	4077	3753	4061	46,595
入院診療計画書	1942	1594	1910	1966	2076	2023	2210	2267	2106	2097	2044	2026	24,261
退院療養計画書	542	496	533	557	535	518	530	541	526	575	523	530	6,406
説明書	3287	2914	3903	3250	3315	3530	3258	3766	3477	3386	3408	3531	41,025
看護	611	620	679	671	610	729	683	619	716	714	615	697	7,964
手術記録	43	11	12	41	39	48	34	38	38	23	21	20	368
その他	2164	2041	2625	2041	2074	2040	1967	1979	1780	2038	1741	1869	24,359
診療情報提供書	1654	1607	2268	1870	1949	2151	1997	2030	1999	1883	2034	1988	23,430
管理文書	199	153	151	152	235	143	153	196	233	196	255	179	2,245
実施記録	154	99	183	147	140	135	124	159	154	134	125	128	1,682
診療カレンダー	5700	4936	5780	6001	5963	5913	6468	7234	6332	6132	6028	6284	72,771
妊婦健診チャート	8400	7607	9034	8256	7939	8588	8869	9570	9226	8480	8525	8622	103,116
記録	2941	2965	3103	3044	2990	3092	3103	3481	2934	3011	2769	2948	36,381
分娩記録	1044	923	1031	1185	958	954	1024	982	804	918	974	974	11,771
検査技師記録	10	7	20	26	7	12	7	10	20	6	10	1	136
薬剤師記録	718	615	844	700	719	885	884	958	987	916	918	850	9,994
保健師記録	491	476	461	473	483	523	525	527	507	426	390	399	5,681
心理士記録	1107	943	1225	1186	1137	1373	1218	1346	1180	1196	1191	1130	14,232
ケースワーカー記録	782	753	926	896	896	1069	978	865	1127	953	859	974	11,078
S T 記録	740	593	914	802	701	925	826	802	783	731	713	808	9,338
視能訓練士記録	185	212	244	201	252	232	242	211	202	258	314	259	2,812
歯科衛生士記録	8	5	9	14	8	23	15	12	12	15	16	14	151
管理栄養士記録	725	705	974	728	696	886	861	873	778	787	850	879	9,742
C R C 記録	9	11	9	5	3	6	16	9	6	5	5	14	98
H P S 記録	457	410	609	522	454	573	490	606	528	482	345	366	5,842
P T 記録	914	788	1115	1015	931	1081	1067	1037	918	1046	956	1033	11,901
O T 記録	549	565	650	741	639	830	685	799	829	785	701	663	8,436
プログレスノート	106576	95414	120516	109433	104845	112235	112072	120786	110139	111169	109799	113422	1,326,406
検歴貼付け	4256	3949	5116	4459	4050	4260	4371	5012	4640	4507	4208	4679	53,507
眼科レポート	2365	1816	2975	2353	2851	2758	2661	2769	2654	2441	3121	2803	31,567
退院時サマリ	3302	2532	3164	3164	3215	3069	3255	3786	3270	3195	3180	3372	38,504
科別サマリ	65	56	88	79	67	53	90	80	15	49	57	56	755
外来初診時ノート	279	235	372	312	372	402	327	349	314	351	354	289	3,956
診察済記録オーダ	1208	1072	1421	1194	1104	1172	1210	1440	1153	1127	1170	1294	14,565
レポートエディタ	467	315	429	513	436	462	485	480	469	422	431	478	5,387

表4-1-3. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数 (2022.1~2022.12)

オーダ内容	2022年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
テンプレート	467	315	430	511	436	461	485	480	469	422	432	478	5,386
時間外診察記録	609	655	621	784	813	757	1188	1023	942	1106	1000	1112	10,610
休業完了	12	15	8	24	21	14	14	23	18	19	22	17	207
パス評価	356	281	368	368	386	390	415	448	430	353	364	388	4,547
アウトカムアセスメント	7410	6628	7658	7749	7839	8199	8349	9832	8330	8122	7925	8794	96,835
適応除外基準	675	533	658	675	705	729	725	835	746	700	699	703	8,383
終了基準	457	495	503	515	602	540	500	658	596	584	544	572	6,566

パスメモ	146	90	156	159	190	140	149	139	119	115	157	125	1,685
看護メモ	157	52	162	200	174	102	83	115	86	111	128	100	1,470
看護:日常生活ケア	2543	2301	2411	2535	2435	2256	2911	3153	2487	2688	2561	2787	31,068
看護:家族支援	226	178	184	196	228	167	183	208	214	192	206	210	2,392
看護:指導・教育	1022	877	1008	1069	1055	1020	1044	1092	1143	1108	1076	1147	12,661
看護:組織間調整	1194	1038	1078	1289	1182	1084	1207	1296	1337	1280	1149	1314	14,448
看護:機器などの装着に伴うケア	550	488	505	614	602	511	764	735	617	588	632	664	7,270
看護:その他	1204	988	1124	1236	1126	1122	1296	1746	1796	1818	1702	1817	16,975
看護:妊産褥婦のケア	1324	1235	1293	1372	1308	1197	1347	1427	1418	1690	1712	1933	17,256
看護:ハイリスク妊産褥婦のケア	379	359	389	388	331	340	384	367	354	426	374	410	4,501
看護:医療依存度が高い在宅ケア	25	18	14	4	14	2	7	12	9	15	13	8	141
看護:在宅療養体制確立支援	8	7	7	5	5	0	1	7	4	7	4	6	61
看護:安全・安心を確保するための支援	79	58	58	77	76	61	69	67	85	80	76	77	863
看護アセスメントシート	2521	2183	2515	2436	2505	3012	2831	2763	2757	2938	2854	2955	32,270
看護記録	32811	29364	33662	33502	33185	34312	36273	36358	34834	37389	35746	36625	414,061
実施記録	86275	75743	88064	85054	82497	87310	93359	94507	81338	95330	95289	96563	1,061,329
SOAP & フォーカス	30279	26438	29788	28578	27145	26946	29500	28106	27047	29235	28021	29297	340,380
看護計画	3077	2569	3115	2993	2788	2970	3164	2967	2942	3181	3023	3173	35,962
中間サマリ	92	66	116	64	60	36	41	110	45	64	92	96	882
退院・転院サマリ	901	809	938	739	772	783	700	846	592	970	789	845	9,684
助産記録1	1381	1179	1300	1434	1294	1326	1299	1388	1483	1385	1260	1326	16,055
助産記録2	85	27	103	120	89	90	87	68	91	134	74	81	1,049
一般外来処置(指示)	514	451	659	481	491	575	475	577	532	657	781	862	7,055
一般外来処置(実施済)	1477	1346	1776	1496	1489	1675	1632	1756	1630	1522	1511	1557	18,867
入院処置	1072	868	986	1282	1081	987	1118	1250	1236	1116	1165	1384	13,545
入院処置(実施済)	981	826	1014	1107	910	984	1050	1038	1099	1060	1023	1110	12,202
コスト伝票	2613	2463	3038	2737	2677	3064	3048	3051	2808	2940	2669	2868	33,976
コスト伝票(指示簿)	27648	22135	25698	25175	23290	23707	25608	24348	22858	28860	26017	26380	301,724
歯科処置(外来)	1321	1048	1670	1399	1206	1538	1362	1686	1426	1407	1408	1556	17,027
歯周チャート	29	22	44	22	9	28	34	51	34	20	35	40	368
衛生実地指導	473	369	617	509	402	509	502	561	517	483	522	558	6,022
眼科処置	1627	1307	2261	1641	1968	1861	1779	1928	1836	1639	2030	1929	21,806
リハ処方指示	50	52	49	42	51	65	51	59	67	77	63	69	695
リハ予約調整指示	3321	3016	4184	3992	3430	4201	3765	4030	4080	4081	3956	3967	46,023
手術申込	1120	854	1142	1271	1013	1199	1194	1190	1177	1172	1098	1233	13,663
手術予約	2010	1436	2016	2193	1985	2213	2303	2284	2255	2252	2031	2217	25,195
手術実施	1321	911	1180	1370	1237	1441	1443	1440	1493	1386	1308	1401	15,931
麻酔申込	2815	2157	2898	3095	2668	2986	3048	3027	2925	2959	2782	2998	34,358
手術記録	322	212	305	333	303	340	368	353	366	349	322	343	3,916
手術看護記録	1635	1057	1554	1684	1695	1879	1908	1850	1841	1761	1628	1843	20,335
手術レポート	216	135	184	255	209	221	235	236	220	211	226	243	2,591
血液製剤依頼オーダー	235	186	233	250	191	177	213	232	182	207	281	329	2,716
自己血採血依頼オーダー	13	26	26	26	25	24	23	35	30	26	17	27	298
幹細胞移植オーダー	0	3	3	5	0	3	2	2	4	1	4	1	28
輸血実施	265	201	260	265	190	169	210	278	186	198	267	404	2,893
自己血採血実施	11	15	23	22	17	17	18	26	23	16	13	19	220
幹細胞採取実施	0	3	3	3	0	2	1	1	3	1	3	1	21
血液製剤在庫報告書	1306	1099	1352	1323	968	955	1139	1590	1052	1163	1452	2119	15,518
血漿分画製剤依頼	83	51	58	73	55	52	50	77	75	45	40	147	806
外来サマリ	411	414	474	390	338	332	422	479	401	278	471	396	4,806
テンプレート	26205	23139	29166	28877	27615	27976	29158	31170	28759	29195	28482	29127	338,869
栄養指導	58	53	63	51	58	79	83	62	65	76	80	53	781
発達外来記録	5	3	24	3	5	16	7	15	15	6	8	8	115
外部非公開テンプレート	6136	5370	6574	6670	6745	7225	6653	7306	7688	7382	6961	7228	81,938
医学的根拠(冠動脈CT撮影加算)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

入院までの経過	576	425	526	648	597	628	556	634	568	540	510	481	6,689
入院時現症	423	349	419	500	525	570	507	552	478	449	413	430	5,615
中間サマリ	97	82	88	99	138	96	101	96	88	43	49	29	1,006
再診予約	27449	26440	34384	28664	27395	30066	30018	35738	31086	29271	29077	30458	360,046
他科診依頼	842	777	877	874	861	896	754	911	912	901	916	858	10,379
指示：栄養	3628	3053	3793	3675	3379	3896	4143	4161	3868	4273	3956	4297	46,122
指示：安静度	1718	1440	1703	1709	1724	1829	2032	2072	1891	1928	1867	1948	21,861
指示：清潔	826	666	834	868	801	827	991	1075	908	917	970	1113	10,796
指示：計測	2353	2156	2435	2376	2171	2112	2703	3008	2480	2647	2649	2837	29,927
指示：モニター	2371	1896	2103	2371	2150	2266	2570	2725	2543	2475	2498	2781	28,749
指示：点滴	2792	2225	2767	2917	2752	3106	3410	3192	3112	3298	2970	3299	35,840
指示：薬剤	2932	2193	2779	3177	2884	3190	3464	3377	3331	3453	3275	3645	37,700
指示：検査	1650	1351	1725	1875	1691	1786	1960	1938	1930	1936	1765	2059	21,666
指示：処置	2014	1490	1852	1940	1699	1882	2158	2250	2008	2034	2041	2294	23,662
指示：発熱時	953	719	918	830	863	911	1076	1216	905	856	941	963	11,151
指示：痙攣時	141	149	183	176	186	146	208	152	112	166	165	139	1,923
指示：疼痛時	1011	716	1024	1022	900	900	1082	1135	1059	934	952	1008	11,743
指示：腹痛時	10	10	18	15	19	14	9	16	5	13	0	13	142
指示：頭痛時	17	16	6	8	8	10	11	4	15	16	13	16	140
指示：不眠時	149	124	115	129	93	116	102	107	121	132	143	104	1,435
指示：不穏時	47	36	40	55	32	30	30	35	38	17	26	29	415
指示：嘔気時	188	143	166	165	173	152	188	216	173	186	169	210	2,129
指示：便秘時	776	602	796	688	638	663	785	870	684	695	708	749	8,654
指示：掻痒時	41	37	44	54	52	30	55	36	45	50	39	54	537
指示：消毒	21	13	20	30	20	38	39	34	45	22	50	21	353
指示：酸素	559	463	490	565	559	616	693	754	578	563	638	615	7,093
指示：呼吸器	378	302	401	361	336	417	298	298	273	414	296	381	4,155
指示：面会	41	32	26	62	87	36	29	7	21	35	15	15	406
合計	601,905	529,894	650,160	612,983	585,288	618,017	642,600	677,177	617,075	644,756	635,061	661,502	7,476,418

表 4-1-4. 第7期総合診療情報システムオーダ処理件数 (2022.1~2022.12)

オーダ内容	2022年												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
指示：連絡	654	508	674	646	586	598	678	671	661	625	576	634	7,511
指示：その他	2681	2427	2978	3054	2649	2686	3335	3595	3126	3068	3039	3300	35,938
指示：術前(麻酔科)	1162	699	879	1025	933	1179	1130	1311	1258	1147	1335	1410	13,468
指示：術後(麻酔科)	216	125	218	202	175	248	268	285	289	224	304	334	2,888
指示：インスリン・血糖	105	124	200	240	110	121	122	165	166	159	185	178	1,875
指示：術前	8	6	16	10	14	12	24	17	17	16	18	21	179
指示：術後	48	26	28	44	53	71	56	32	73	88	57	66	642
指示：レスパイト②	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8
栄養管理計画	438	314	270	321	403	374	262	454	291	345	382	329	4,183
栄養管理計画(小児)	1285	795	844	1026	1252	1292	1086	1444	927	1028	1360	1158	13,497
NST介入依頼	2	1	2	1	3	4	1	1	3	2	2	1	23
褥瘡介入依頼	2	0	1	0	2	2	4	0	2	3	0	1	17
在宅医療支援介入依頼	14	8	19	11	13	18	19	19	9	14	9	14	167
チーム医療却下理由	3	1	2	2	0	4	1	1	1	2	0	2	19
チーム医療受付	18	9	20	11	18	23	21	13	15	17	7	16	188
栄養スクリーニング(小児)	1219	937	1148	1123	1251	1258	1314	1428	1255	1249	1249	1215	14,646
栄養アセスメント・カンファレンス記録	188	138	179	150	157	159	167	139	171	65	110	80	1,703
栄養スクリーニング(母性)	280	242	260	251	262	265	269	291	281	314	263	268	3,246
危険因子評価票	1835	1383	1619	1662	1614	1669	1788	1835	1673	1726	1713	1775	20,292
褥瘡対策計画書	1271	814	1077	1155	888	938	1191	1049	996	1075	1204	1083	12,741
アセスメント票	200	153	159	185	135	173	163	171	203	151	166	180	2,039
褥瘡経過記録	278	135	384	195	233	200	302	229	224	417	328	452	3,377

褥瘡発生報告書	26	14	66	29	48	48	55	33	59	75	63	96	612
危険因子評価票	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4
創傷発生報告書	70	57	63	56	52	54	49	50	39	71	67	74	702
創傷経過記録	356	198	318	308	370	308	381	437	340	436	475	429	4,356
ASTラウンド記録	23	33	45	40	31	27	39	54	33	48	43	52	468
ICT抗菌薬ラウンド記録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カンファレンスシート	2	2	5	5	5	0	5	0	2	0	0	3	29
在宅医療支援介入終了	17	11	16	12	13	17	17	10	13	10	10	11	157
褥瘡カンファレンス記録	11	7	17	9	18	12	10	10	19	12	10	14	149
他院紹介患者	1042	1013	1405	1182	1205	1306	1211	1216	1202	1160	1206	1214	14,362
Excelチャート	2636	2138	2503	2829	2641	2633	2758	3247	2983	2896	2615	2638	32,517
合計	1,215,742	1,068,334	1,311,099	1,237,427	1,181,537	1,247,376	1,297,689	1,368,141	1,246,088	1,301,775	1,282,812	1,335,676	15,093,696

【インターネット等】

インターネット機器については、2024年6月末にはリース期間満了に伴う機器更新を予定しており、検討を行っている。また、今年（2022年）も、インターネット環境についての円滑な運用に努めた。

インターネット環境における関連作業として、以下のものを実施した。

- 新ホームページへの移行作業
- eラーニングのシステムの技術支援
- 旧MCHメールアドレス廃止
- 電子メールに送られてくるコンピュータウイルス対策と院内への注意喚起

（文責：西谷）

編集後記

大阪母子医療センターは、1981年に周産期部門の診療を開始し、1991年には小児医療部門と研究所を開設しました。現在、大阪母子医療センターは、総長のもとに、病院・母子保健情報センター・研究所・事務局の4部門で構成されています。

母子保健情報センターの前身である企画調査部は、開設当初の1981年から、母子保健にかかる調査分析や保健医療従事者の研修や教育、地域の関連機関と連携した患者支援など、大阪府の母子保健の推進を多岐にわたって行ってきました。

母子保健情報センター各業務をより詳細に記録すること、特に母子保健関連業務の実績を公衆衛生的観点で取りまとめて発信することで、患者支援における地域機関との更なる連携強化や大阪府内市町村における母子保健活動の更なる充実に寄与することを目的に、2017年12月に、2016年度母子保健情報センター報告書（初版）を発行しました。今回は2023年12月に、2022年度報告書を発行します。

この報告書では、子ども虐待防止に関する活動について特集として記載しました。活動の中心を担う子どものこころの診療科主任部長の小杉恵先生、患者支援センターの川口めぐみ看護師・香西摩矢子社会福祉士より、資料提供やご助言をいただきながらなんとかまとめることができました。その他、大阪府母子保健指標のまとめと母子保健情報センター業務報告を掲載しました。貴重な市町村データを活用させていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今後も、母子保健情報センター報告書を通じて、大阪母子医療センターにおける母子保健活動を発信していきたいと考えています。引き続き、皆様方のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(母子保健調査室 馬場 幸子)

<作成：母子保健推進委員会小委員会（50音順 2023年度メンバー）>

上田美香（患者支援センター）、江口奈美（看護部/患者支援センター）、川口めぐみ（患者支援センター）、岡田夏織（母子保健調査室）、清水仁美（母子保健調査室）、樽井富子（母子保健調査室）、西野淳子（看護部）、馬場幸子（母子保健調査室）、平野慎也（新生児科/発達外来推進室）、本城孝一郎（事務局/母子保健調査室）、松尾規佐（看護部）、山田俊哉（情報企画室）、福江めぐみ（育・療支援部門/発達外来推進室）、和田聡子（看護部）

母子保健推進委員会小委員会アドバイザー

光田信明（病院長）、和田和子（統括診療局長/新生児科主任部長）

母子保健情報センター報告書

2023年12月 発行

発行元：地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840
Tel 0725-56-1220 Fax 0725-56-5682

作成者 母子保健推進委員会小委員会

印刷所：和泉出版印刷株式会社
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目5番4-201号
Tel 06-6946-1073 Fax 06-6946-7684

